

# 三重県観光振興基本計画年次報告書

(平成27年度施策実施状況)

平成28年9月

三 重 県

## は じ め に

三重県では、観光振興の取組を着実に進め、観光産業を本県経済の牽引産業として大きく育てていくため、平成23年10月にみえの観光振興に関する条例を制定し、同条例に基づき、平成24年3月に三重県観光振興基本計画（平成24年度～27年度）を策定しました。

この計画は、「式年遷宮の好機を生かした国内誘客」、「三重県の特性を生かした海外誘客」、「観光産業の高付加価値化」等を施策展開の柱とし、同計画の下、平成25年度から27年度にわたり、県、関係行政機関、事業者、観光関係団体、経済団体等が連携し、官民一体となったオール三重で展開する「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～」や重点国・地域を明確化した戦略的な海外誘客に取り組んできたところです。

その結果、三重県観光キャンペーンでは、キャンペーンの核である「みえ旅パスポート」の発給は約62万部となり、多くの方に県内全域を旅することを楽しんでいただきました。

また、海外誘客の取組では、ターゲット国・地域に向けての継続的な誘客に取り組むとともに、「昇龍道プロジェクト」との連携等で、平成27年の本県の外国人延べ宿泊者数は約39万人で前年比119.4%増となり、伸び率では静岡県に続き、全国2位となりました。

28年度からは、これまでの成果を生かすとともに、千載一遇の機会である伊勢志摩サミットの資産を多く育て、観光で地域の稼ぐ力を伸ばす三重県観光振興基本計画（平成28年度～31年度）を推進していきます。

今回、作成した年次報告書は、みえの観光振興に関する条例にもとづき、年1回、三重県観光振興基本計画に基づく観光施策の実施状況について公表するものです。この報告によって、県民の皆さんをはじめ、各種団体や事業者のみなさん、市町等が三重県の観光施策について理解と関心を高めていただき、県とともに観光振興のための取組を推進されることを期待します。

# 目 次

1	平成28年版成果レポート	1
	施策342 観光産業の振興	2
	施策343 国際戦略の推進	5
	新しい豊かさ協創プロジェクト4 世界の人びとを呼び込む観光協創プロジェクト	10
2	三重県観光振興基本計画の概要	14
	三重県観光振興基本計画の目標項目	16
	三重県観光振興基本計画の目標達成状況	17
3	三重県の観光施策の体系	18
4	平成27年度観光施策の取組状況	20
	1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	
	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	20
	(2) 周遊性・滞在性の向上につながる誘客のしくみづくり	24
	(3) 体験型観光を通じた教育旅行の誘致	27
	2 三重県の特性を生かした海外誘客	
	(1) 海外の市場動向に応じたプロモーション及び誘客活動の展開	28
	(2) 国及び他府県との広域連携の推進	30
	(3) 外国人観光旅行者の受入体制の整備充実	31
	3 観光産業の高付加価値化	
	(1) 観光産業の育成・振興	33
	(2) 観光産業の複合化による新たなツーリズムへの対応	34
	(3) 観光産業の高度化につながる県産品の魅力づくり	37
	4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	
	(1) 観光地づくりを担う人材の育成(「おもてなし」の向上)	39
	(2) 県民の観光行動の促進	42
	(3) 地域の持続的な観光地づくりへの支援	44
	5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	
	(1) 観光地の景観形成・快適な交流空間づくり	47
	(2) 人にやさしい観光地づくり	49
	(3) 観光旅行の安全・安心の確保	51
	(4) 観光振興に資する交通基盤等の構築	53

5 推進体制の整備	55
(1) 計画の推進体制	55
(2) 観光統計の整備	55
(3) 計画の進行管理	55
参考資料	56
○ 三重県観光審議会の審議状況	57
○ 三重県観光の現状（平成27年）	
・ 1 観光レクリエーション入込客数の推移	59
・ 2 地域別観光入込客数の伸び率の推移	60
・ 3 神宮参拝者数累計	61
・ 4 外国人宿泊者数	62
・ 5 男女構成割合	63
・ 6 年齢構成割合	64
・ 7 居住地構成割合	65
・ 7-2 地域別居住地構成割合	66
・ 8 滞在種別構成割合（宿泊・日帰りの別）	67
・ 9 同行者構成割合	68
・ 10 平均滞在時間（日帰り）	69
・ 11 平均宿泊日数	70
・ 12 旅行目的	71
・ 12-2 滞在種別旅行目的	72
・ 13 来訪回数	73
・ 14 交通手段（三重県まで）	74
・ 15 一人あたり観光消費額（宿泊）	75
・ 16 一人あたり観光消費額（日帰り）	76
・ 17 総合満足度	77
・ 17-2 地域別総合満足度（評価点）	78
・ 17-3 居住地別総合満足度（評価点）	79
・ 18 地域別の状況	80
○ 用語の説明	81
○ みえの観光振興に関する条例	88
○ 三重県観光振興基本計画（平成28年度～31年度）の概要	94

## 1 平成28年版成果レポート

(みえ県民カビジョンによる観光施策)

三重県の長期戦略である「みえ県民カビジョン」や中期戦略「みえ県民カビジョン・行動計画」では、観光関係の取組として、2つの施策と1つの選択・集中プログラムを掲げています。

施策等	施策等の目標	主な取組内容	県の活動指標
342 観光産業 の振興	観光消費額の伸び 率	基本事業34201 式年遷宮の好機を生かした国内誘客戦略	観光レクリエーション 入込客数
		基本事業34202 三重県を訪れる海外誘客 戦略	県内の外国人延べ宿泊 者数
		基本事業34203 来訪を促進する観光の基 盤づくり	リピート意向率
343 国際戦略 の推進	海外自治体等との 連携により新たに 創出された事業数 (累計)	基本事業34303 海外自治体等と連携した 誘客戦略の推進	観光における海外自治 体等との連携事業数 (累計)
協創4 世界の 人びとを呼 び込む観 光協創プ ロジェク ト	観光レクリエーシ ョン入込客数	実践取組1 式年遷宮を生かした国内 誘客戦略の推進	延べ宿泊者数  リピート意向率
		実践取組2 観光PRの強化を通じた 海外誘客戦略の推進	県内の外国人延べ宿泊 者数 海外の自治体等との連 携事業数(累計)
		実践取組3 観光産業の基盤の強化	受講生が取り組んだ地 域活動数(累計)

(成果レポート)

成果レポートとは、みえ県民カビジョンに定める56の施策と、特に注力すべき政策課題である16の選択・集中プログラム単位ごとに、前年度の県政の取組について評価を行い、その結果を翌年度における取組に生かすものです。

## 施策 3 4 2

## 観光産業の振興

【主担当部局：雇用経済部観光局】

### 県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さん、市町、観光事業者および観光関係団体等との連携により、観光振興の取組が進み、国内外からの誘客が促進されるとともに、県内地域において魅力ある観光地が形成され、観光産業が本県の経済をけん引する産業の一つとして確立され、持続的に発展しています。

### 平成 27 年度末での到達目標

式年遷宮により全国から本県に注目が集まる絶好の機会を生かした国内外に対する観光宣伝活動の強化、県内での周遊性・滞在性の向上、観光人材の育成等、観光産業の基盤強化を進めるなどの取組が展開され、本県の認知度が高まり来訪者が増加し、観光産業の活性化が図られています。

### 評価結果をふまえた施策の進展度と判断理由

進展度 *	B (ある程度進んだ)	判断理由	県民指標の目標は達成できませんでしたが、活動指標である「県内の外国人延べ宿泊者数」が前年の2倍を上回るなど順調に伸びていることから「ある程度進んだ」と判断しました。
----------	----------------	------	--

【\*進展度：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

県民指標						
目標項目	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況
観光消費額の 伸び率		116	127	127	127	0.85
	100	101	119	104	108	
目標項目の説明						
目標項目 の説明	観光旅行者が県内において支出した観光消費額（交通費、宿泊費、土産品費、その他の費用）の平成 23 年を 100 とした場合の伸び率					

活動指標							
基本事業	目標項目	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況
34201 式年 遷宮の好機を 生かした国内 誘客戦略（雇 用経済部観光 局）	観光レクリエー ション入込客数		3,650 万 人	4,000 万 人	4,000 万 人	4,000 万 人	0.98
		3,565 万 人	3,787 万 人	4,080 万 人	3,824 万 人	3,921 万 人	

基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況
34202 三重県を訪れる海外誘客戦略（雇用経済部観光局）（創21）	県内の外国人延べ宿泊者数		100,000 人	120,000 人	135,000 人	150,000 人	1.00
		90,990 人	94,660 人	130,890 人	178,520 人	391,740 人	
34203 来訪を促進する観光の基盤づくり（雇用経済部観光局）	リピート意向率		82.0%	88.0%	94.0%	100.0%	0.84
		77.8%	83.9%	84.5%	83.1%	83.7%	

（単位：百万円）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
予算額等	914	2,329	721	585	821
概算人件費		243	257	258	262
（配置人員）		（27人）	（28人）	（29人）	（30人）

#### 平成27年度の取組概要と成果、残された課題

- ①国内誘客については、官民一体となった三重県観光キャンペーンを展開することにより、三重の認知度向上、周遊性・滞在性の向上、リピーターの獲得に努めました。3年間で発給した「みえ旅パスポート」は、619,251件、「みえ旅案内所」101施設（当初68施設）、「みえ旅おもてなし施設」898施設（当初640施設）に達しました。今後、キャンペーンの成果である仕組みや体制を生かすとともに、「みえ旅パスポート」のデータを活用し、「三重県観光の共感者（三重ファン・リピーター）」の新規開拓・再来訪促進を図る必要があります。（創15）
- ②国内最大級の体験予約サイト「アソビュー」と連携し、体験メニューのブラッシュアップを図るとともに、プロモーションを強化することで販路拡大を図りました。しかし、観光消費単価については伸び悩んでいる状況です。顧客満足度の高いサービスを提供できる観光関連産業の育成、地域が一体感を持って観光地づくりを行うための「ブランドづくり」、「地域ストーリーづくり」等を進めるとともに、多様な事業者との連携により「観光の産業化」を進め、三重の観光の「質」を高めることで、観光消費額の増加を図る必要があります。（創15）
- ③情報発信については、共通テーマを持つ他県との連携や女子旅EXPOなどターゲットを絞った情報発信に取り組みました。特に、「忍者」については、滋賀県や神奈川県など忍者にゆかりのある11団体により「日本忍者協議会」を平成27年10月に設立し、オールジャパン体制で全世界に「忍者」文化を強力に発信することで、本物を求める観光客の誘客促進につなげていきます。また、「海女」についても海女文化のユネスコ無形文化遺産登録をめざすとともに、伊勢志摩サミット開催の好機を捉え、本県のクールジャパン資源として認知度向上を図っていく必要があります。（創15）
- ④すべての事業において、可能な限り数値化を行うことで「成果の見える化」を図るとともに、「観光の産業化」の視点から取組の成果や課題を整理する必要があります。また、それらに関係者にフィードバックし、改善につなげていくプロセスを構築するなど、「マネジメント（PDCAサイクル）」等による「観光地経営の視点」に立った取組を展開するために、地域が主体となって観光地づくりの中心となる「日本版DMO\*」の創設を支援します。（創15）

- ⑤海外誘客については、「みえ国際展開に関する基本方針」に基づき、台湾の台北や高雄、タイやマレーシアでの海外旅行博への出展やセールスを行うとともに、台湾やタイ、マレーシアで人気の旅番組の県内取材や香港・台湾・タイ等の旅行エージェント・メディアのファムトリップの受入などにより知名度向上を図りました。また、割引率を設定した宿泊券や商品券を活用するとともに、国の訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）による他県等との連携や中部北陸9県による「昇龍道」の取組への参画など広域連携による誘客促進を図りました。（創 21）
- ⑥比率が高まる個人の外国人旅行者（FIT）のニーズに対応するため、世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」と連携し、「三重県×トリップアドバイザー外国人おもてなしプロジェクト」を立ち上げ、ステッカーや口コミ促進カードによる啓発や県民への口コミ投稿の呼びかけを行った結果、トリップアドバイザーにおける外国人旅行者の満足度は、全国44位から19位に上昇しました。（創 21）
- ⑦官民一体で構成する「三重県外国人観光客誘致促進協議会」内に「みえゴルフツーリズム促進部会」を設置し、事業者に対しセミナーの開催等を通じて意識啓発を図るとともに、パンフレット等のツールを作成して誘客促進を図っています。（創 21）
- ⑧「三重県海外誘客促進環境整備補助金」により、多言語表示や無料公衆無線LAN（Wi-Fi）等受入環境の整備促進を図りました。
- ⑨平成27年の外国人延べ宿泊者数は、昨年の上回る391,740人となりました。特に、伊勢志摩サミット開催決定後の下半期の伸び率は、全国1位を記録しました。また、宿泊者数に占める外国人旅行者の割合も2.0%から4.1%に上昇しました。好調なインバウンドのさらなる増加に向け、ターゲットを欧米諸国や富裕層に拡大するとともに、MICE\*誘致にも取り組む必要があります。（創 21）
- ⑩三重県バリアフリー観光ガイド「みえバリ」を活用し、バリアフリー観光コンシェルジュ研修を開催し、窓口等における案内機能の強化を図りました。また、バリアフリー観光推進大会では、三重県版バリアフリー観光についての意見をいただくとともに、パーソナルバリアフリー基準についての周知を図りました。今後、ますます高齢化が進みバリアフリー観光のニーズが高まることが見込まれるため、三重県版バリアフリー観光のさらなる推進を図るとともに、増加する外国人旅行者に対応するため、言葉のバリアフリーにも取り組む必要があります。（創 21）
- ⑪平成24年に策定した三重県観光振興基本計画で残された課題や社会情勢の変化、三重県観光キャンペーンやインバウンドの取組み成果等をふまえ、三重県観光を持続的に発展させるべく、県内での観光消費額の拡大、観光の産業化の観点から三重県観光振興基本計画（平成28年度～31年度）を策定しました。今後、同計画の目標達成に向けた取組を進める必要があります。

\*「創 番号」のついた項目は、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPIの基本的な取組方向の番号を示しています。

#### 【第二次行動計画の関連する施策】

施策332：観光の産業化と海外誘客の推進



【主担当部局：雇用経済部】

県民の皆さんとめざす姿

姉妹・友好提携先に加えて、欧米やアジアなど、今後結びつきを強める必要のある地域を設定し、産業や観光、文化などのさまざまな分野で横断的に取り組むことにより、世界から優れた企業、人材の呼び込み県内企業の海外展開が進み、地域に新たな活力と価値が創造されています。

平成27年度末での到達目標

国際社会のグローバル化に対応するため、姉妹・友好提携先や各国の駐日大使館等との連携を強化するとともに、新たな国際ネットワークを構築し、海外に向けて県の持つ高い技術や観光資源等の魅力を発信することにより、海外自治体等との連携が進み、文化、経済的交流が活性化しています。

評価結果をふまえた施策の進展度と判断理由

進展度 *	A (進んだ)	判断理由	県民指標及び活動指標について、全て目標を達成したことから「進んだ」と判断しました。
----------	------------	------	---

【\*進展度：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況
海外自治体等との連携により新たに創出された事業数（累計）	/	5件	20件	(達成済)	20件	1.00
	—	15件	31件	49件	94件	
目標項目の説明						
目標項目の説明	海外の自治体や駐日大使館等との連携から、新たに生まれた産業や観光、文化関連の事業数					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況
34301 国際交流・貢献活動のネットワーク化の推進（雇用経済部）	みえ国際協力大使数（累計）	/	140人	160人	180人	200人	1.00
		125人	142人	163人	182人	208人	

基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況
34302 企業活動を支える国際的なネットワークづくりの推進（雇用経済部）	新たに連携構築を行った国際的なネットワークの数（累計）		1件	2件	4件	6件	1.00
		—	1件	3件	7件	10件	
34303 海外自治体等と連携した誘客戦略の展開（雇用経済部観光局）	観光における海外自治体等との連携事業数（累計）		2件	5件	（達成済）	10件	1.00
		—	3件	10件	14件	20件	

（単位：百万円）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
予算額等	78	90	106	84	80
概算人件費		144	120	178	201
（配置人員）		（16人）	（13人）	（20人）	（23人）

#### 平成27年度の取組概要と成果、残された課題

- ①平成25年9月の「みえ国際展開に関する基本方針」策定後、「みえ国際展開推進連合協議会」の設立など推進体制の整備や、各国（地域）等とのネットワークの強化など、さまざまな進展が見られる状況をふまえ、平成27年6月に基本方針を改訂し、国際展開のさらなるレベルアップを図ることとしました。同方針に国際展開のプラットフォームとして位置づけた推進連合協議会と4つの分野（外国人観光客誘致、医療・健康・福祉産業国際交流、農林水産物・食品輸出、企業国際展開）ごとの協議会を国際展開の推進エンジンとして有効に活用しながら、ターゲット国（地域）とのMOUの締結など、これまでの取組の成果を、それぞれ、引き続き、しっかりとフォローしていくことが必要です。
- ②「食」をテーマとするミラノ国際博覧会（ミラノ万博）の日本館への出展に合わせて、平成27年6月30日から7月8日まで、欧州経済産業交流ミッション団を派遣し、イタリア、フランス、イギリスを訪問しました。同ミッションにおいては、三重県のビジネスや文化に関するトップセールスを行うとともに、企業や政府関係機関等をはじめとする新たなネットワークの構築等を行うことで、「食」や航空宇宙産業等について、県内企業の海外展開や販路開拓、海外からの企業誘致及び欧州からの観光誘客等を図りました。また、2016年主要国首脳会議「伊勢志摩サミット」の開催決定をふまえ、三重県でのサミット開催についても情報発信を行いました。今回のミッションで新たにネットワークを構築した結果、11月にはMOUを締結したヴァルドワーズ県の代表団が来県するなど交流・連携につながっています。今後も構築したネットワーク等を活用し、海外との一層の産業連携の促進等を図るとともに、引き続き三重の「食」の魅力発信を行い、販路拡大やインバウンドにつなげていきます。また、産業分野のみならず、看護、医療、健康福祉及びスポーツ等の多様な分野において広く国際展開を図っていくことが必要です。

- ③県産品のアジア市場への展開を促進するため、11月、本県と航空輸送事業者との間で連携と協力に関する覚書を締結し、観光の振興、食を中心とした県産品の販路拡大、航空分野における人材育成などを中心に連携した取組を進めました。また、1月には、食を中心とした県産品の販路拡大のための具体的な取組として、同航空輸送事業者の航空貨物部門の会社及び同社とともに沖縄国際物流ハブを基点としてアジア圏へのスピーディな輸送ネットワークを構築する運輸事業者との3者間で連携協定を締結しました。今後、3者それぞれが有する資源やノウハウを有効活用するとともに、11月末から開始した「沖縄国際物流ハブを活用した三重県産品輸出支援事業」を継続実施することで、三重県産品のアジア圏における物流と商流のネットワークを拡充し、県内事業者の海外販路拡大に向け連携して取り組んでいく必要があります。(創15)
- ④「三重県企業国際展開推進協議会」に設置した「航空宇宙部会」を中心に、県内関係企業とともに、航空宇宙分野における経済連携について検討を行ってきました。特に米国については、9月にワシントン州知事が来日した機会を捉えて知事会談を行い一層関係の深化を図るとともに、2月にはワシントン州及びテキサス州サンアントニオ市へのミッション団を派遣し、県内企業と現地航空宇宙関連企業等との交流を図りました。また、県内で航空宇宙産業への関心を高め将来の技術者を育成する観点から、9月にはボーイング社等との連携により米国から技術者を招聘し、小学生を対象とした航空セミナーを、3月にはワシントン州のサウス・シアトル・カレッジから講師を招聘し、学生・県内企業を対象とした特別講座を開催しました。今後も、引き続き両州市との航空宇宙分野での交流の深化に取り組んでいくことが必要です。
- ⑤台湾との交流・連携については、県内の市も巻き込んだ全県的な取組をめざし、交流のバージョンアップに取り組んできました。6月には、台日産業連携推進オフィス(TJPO)の紹介により、台湾・台東県一行が来県し、志摩市や伊賀市との面談、県内視察などを行いました。また、6月末、高雄市が来県し、県内の石油化学コンビナートを視察しました。こうした結果を踏まえ、1月に知事が台湾を訪問した際、高雄市と本県、台東県と志摩市及び伊賀市がMOUを締結しました。3月には、台東県が来県し、伊賀市、志摩市等を訪問し、県内関係者との交流を行いました。今後も高雄市での鈴鹿サーキットパークの開業などを契機として、台湾とのさらなる交流・連携の深化に取り組むことが必要です。
- ⑥平成25年の訪伯以後、取り組んできたビザの要件緩和について、外務省は、平成27年6月途中から、観光等の目的で来日するブラジル人に対し短期滞在数次ビザの発給を開始しました。また、7月、担当職員が、ブラジルとの交流促進に取り組む四日市市のNPO法人や伊賀忍者とともに訪伯し、サンパウロ市内で開催された「フェスティバル・ド・ジャポン」で、忍者によるステージパフォーマンス、三重県ブースでの観光や物産のPR、さらに同市内旅行会社、サンパウロ州政府等への訪問を行いました。忍者のパフォーマンスはもとより県産品の試飲・試食も大変な好評を博しました。今後も、旅行会社の視察受入や県産品の海外展開の研究など、サンパウロ州との交流促進を模索していくことが必要です。
- ⑦11月には、平成25年11月に産業連携に関する覚書(MOU)を締結したタイ投資委員会(BOI)等と連携し、タイ・バンコクにおいて県内企業4社とタイ企業16社によるビジネスマッチングを開催しました。これにあわせて、タイへミッション団を派遣し、タイ工業省やBOIを訪問し、BOI長官との意見交換やタイ工業省とのMOU締結などを行いました。今後は、「みえ国際展開に関する基本方針」においても重点国と位置付けるタイとの産業連携について、BOI及びタイ工業省それぞれの強みやネットワークを生かした具体的な連携取組を進めていくことが必要です。

- ⑧外資系企業の誘致について、平成27年7月にフランスとイギリスで開催した対日投資セミナー等において知事をトップとする海外ミッションを実施するとともに、ジェトロやグレーター・ナゴヤ・イニシアティブ（GNI）協議会\*など関係機関と連携を図り企業誘致活動の実施や外資系企業とのネットワークの構築を推進しました。（創15）
- ⑨三重県農林水産物・食品輸出促進協議会の会員に対して輸出に向けた商品登録を促すとともに、国際見本市に出展（タイ、台湾、千葉）しました。また、ジェトロ商談スキルセミナー及びハラル研修会、台湾・タイに設置した現地アドバイザーによる販路開拓研修会及び個別相談会のほか、招へいバイヤーとの商談会などを実施するとともに、県産品を活用した日本食レシピの創作と活用、海外販路開拓に取り組む事業者を対象に営業費用を支援（30事業者85件）しました。今後は、インバウンドと連携した販路開拓への支援や国際見本市出展、BtoB商談機会の創出等、輸出に関する知識向上や食品衛生国際規格への対応を進めていく必要があります。（創15）
- ⑩海外誘客については、「みえ国際展開に関する基本方針」に基づき、台湾の台北や高雄、タイやマレーシアでの海外旅行博への出展やセールスを行うとともに、台湾やタイ、マレーシアで人気の旅番組の県内取材や香港・台湾・タイ等の旅行エージェント・メディアのファムトリップの受入などにより知名度向上を図りました。また、割引率を設定した宿泊券や商品券を活用するとともに、国の訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）による他県等との連携や中部北陸9県による「昇龍道」の取組への参画など広域連携による誘客促進を図りました。（創21）
- ⑪比率が高まる個人の外国人旅行者（FIT）のニーズに対応するため、世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」と連携し、「三重県×トリップアドバイザー外国人おもてなしプロジェクト」を立ち上げ、ステッカーや口コミ促進カードによる啓発を行った結果、トリップアドバイザーにおける外国人旅行者の満足度は、全国44位から19位に上昇しました。（創21）
- ⑫官民一体で構成する「三重県外国人観光客誘致促進協議会」内に「みえゴルフツーリズム促進部会」を設置し、事業者に対しセミナーの開催等を通じて意識啓発を図るとともに、パンフレット等のツールを作成して誘客促進を図っています。（創21）
- ⑬平成27年の外国人延べ宿泊者数は、昨年の上回る391,740人となりました。特に、伊勢志摩サミット開催決定後の下半期の伸び率は、全国1位を記録しました。また、宿泊者数に占める外国人旅行者の割合も2.0%から4.1%に上昇しました。好調なインバウンドのさらなる増加に向け、ターゲットを欧米諸国や富裕層に拡大するとともに、MICE\*誘致にも取り組む必要があります。（創21）
- ⑭歴史・文化資源を活用したイベント・セミナー等を開催し、みえの文化の素晴らしさを知っていただく機会を提供しました。今後も伊勢志摩サミットで注目される好機を生かし、世界に誇るみえの歴史・文化の魅力を国内外へ発信し、交流人口の増加、地域の活性化に寄与していく必要があります。
- ⑮東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘致については、フランススポーツ省やイギリスオリンピック委員会、駐日大使館へのトップセールス等を行いました。今後も、事前キャンプ地誘致の実現に向けて、市町等と連携して取り組んでいく必要があります。

⑩平成 28 年 5 月に開催される伊勢志摩サミットの成功に向け、安全・安心な開催に万全を期すとともに、官民が一体となって来訪者を最高のおもてなしでお迎えするため、平成 27 年 6 月に「伊勢志摩サミット三重県民会議」を設立しました（会員 140 団体）。県民会議を中心に、県民や県内市町、企業、関係団体等と連携し、サミット開催による効果を一過性のものとせず、地域の活性化につなげるため、首脳会議の「開催支援」のほか、「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」の 4 つの柱に基づき、オール三重でサミット開催に向けた全県的な取組を展開しました。

また、サミット開催による効果を最大限に生かし、三重県だけでなく近隣地域の活性化につなげていくため、近隣県や経済団体と連携した東海地域の産業・観光情報等の発信などの取組や 10 の関係閣僚会合開催自治体と連携した情報共有や開催地の魅力発信を行いました。

サミット終了後も、開催による効果を一過性のものとせず、サミットのレガシーを三重の未来に生かしていけるよう、ポストサミットの取組を展開していく必要があります。

\* 「創 番号」のついた項目は、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の KPI の基本的な取組方向の番号を示しています。

#### 【第二次行動計画の関連する施策】

施策 2 2 8 : 文化と生涯学習の振興

施策 2 4 2 : 地域スポーツと障がい者スポーツの推進

施策 3 2 3 : 「食」の産業振興

施策 3 2 5 : 戦略的な企業誘致の推進と県内再投資の促進

施策 3 3 1 : 国際展開の推進

施策 3 3 2 : 観光の産業化と海外誘客の促進

【担当部局：雇用経済部観光局】

プロジェクトの目標

三重県観光の「予感」(三重へ行ってみたい)・「体感」(三重で旅行を満喫)・「実感」(三重は楽しかった、また行きたい)のサイクルが築かれ、観光産業が本県の経済をけん引する産業の一つとして確立されています。そのため、観光旅行者の多様なニーズに対応するさまざまな観光振興の取組を、県民の皆さん、市町、観光事業者、観光関係団体等と連携して進めます。4年後には、観光の基盤づくりが進み、観光旅行者の満足度が向上し、式年遷宮後も観光入込客数が持続的に確保されています。

評価結果をふまえたプロジェクトの進展度と判断理由

進展度 *	B (ある程度進んだ)	判断理由	プロジェクトの数値目標は達成できませんでしたが、実践取組の目標である「延べ宿泊者数」や「外国人の延べ宿泊者数」などで目標を達成したことから「ある程度進んだ」と判断しました。
----------	----------------	------	--

【\*進展度：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

プロジェクトの数値目標

目標項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況
観光レクリエーション入込客数		3,650万人	4,000万人	4,000万人	4,000万人	0.98
	3,565万人	3,787万人	4,080万人	3,824万人	3,921万人	
目標項目の説明						
目標項目の説明	1年間に観光レクリエーション等の目的で県内の観光地を訪れた人数について、全国観光統計基準に基づき集計した推計値					

実践取組の目標

実践取組	実践取組の目標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況
1「さまざまな主体との連携による観光PR・誘客」に挑戦します！	延べ宿泊者数		770万人	800万人	800万人	800万人	1.00
		756万人	833万人	969万人	879万人	946万人	
	リピート意向率		82.0%	88.0%	94.0%	100.0%	0.84
		77.8%	83.9%	84.5%	83.1%	83.7%	

実践取組	実践取組の目標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況
2「海外での認知度アップによる来訪者の増加」に挑戦します！（創21）	県内の外国人延べ宿泊者数	/	100,000人	120,000人	135,000人	150,000人	1.00
		90,990人	94,660人	130,890人	178,520人	391,740人	
	海外の自治体等との連携事業数（累計）	/	2件	5件	（達成済）	10件	1.00
		—	3件	10件	14件	19件	
3「来訪を促進する観光の基盤づくり」に挑戦します！	受講生が取り組んだ地域活動数（累計）	/	10件	20件	35件	40件	1.00
		—	13件	29件	50件	62件	

（単位：百万円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
予算額等	52	251	208	304

#### 平成27年度の実践取組概要と成果、残された課題

- ①国内誘客については、官民一体となった三重県観光キャンペーンを展開することにより、三重の認知度向上、周遊性・滞在性の向上、リピーターの獲得に努めました。3年間で発給した「みえ旅パスポート」は、619,251件、「みえ旅案内所」101施設（当初68施設）、「みえ旅おもてなし施設」898施設（当初640施設）に達しました。今後、キャンペーンの成果である仕組みや体制を生かすとともに、「みえ旅パスポート」のデータを活用し、「三重県観光の共感者（三重ファン・リピーター）」の新規開拓・再来訪促進を図る必要があります。（創15）
- ②国内最大級の体験予約サイト「アソビュー」と連携し、体験メニューのブラッシュアップを図るとともに、プロモーションを強化することで販路拡大を図りました。しかし、観光消費単価については伸び悩んでいる状況です。顧客満足度の高いサービスを提供できる観光関連産業の育成、地域が一体感を持って観光地づくりを行うための「ブランドづくり」、「地域ストーリーづくり」等を進めるとともに、多様な事業者との連携により「観光の産業化」を進め、三重の観光の「質」を高めることで、観光消費額の増加を図る必要があります。（創15）
- ③情報発信については、共通テーマを持つ他県との連携や女子旅EXPOなどターゲットを絞った情報発信に取り組みました。特に、「忍者」については、滋賀県や神奈川県など忍者にゆかりのある11団体により「日本忍者協議会」を平成27年10月に設立し、オールジャパン体制で全世界に「忍者」文化を強力に発信することで、本物を求める観光客の誘客促進につなげていきます。また、「海女」についても海女文化のユネスコ無形文化遺産登録をめざすとともに、伊勢志摩サミット開催の好機を捉え、本県のクールジャパン資源として認知度向上を図っていく必要があります。（創15）

- ④すべての事業において、可能な限り数値化を行うことで「成果の見える化」を図るとともに、「観光の産業化」の視点から取組の成果や課題を整理する必要があります。また、それらを関係者にフィードバックし、改善につなげていくプロセスを構築するなど、「マネジメント（PDCAサイクル）」等による「観光地経営の視点」に立った取組を展開するために、地域が主体となって観光地づくりの中心となる「日本版DMO\*」の創設を支援します。（創15）
- ⑤海外誘客については、「みえ国際展開に関する基本方針」に基づき、台湾の台北や高雄、タイやマレーシアでの海外旅行博への出展やセールスを行うとともに、台湾やタイ、マレーシアで人気の旅番組の県内取材や香港・台湾・タイ等の旅行エージェント・メディアのファムトリップの受入などにより知名度向上を図りました。また、割引率を設定した宿泊券や商品券を活用するとともに、国の訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）による他県等との連携や中部北陸9県による「昇龍道」の取組への参画など広域連携による誘客促進を図りました。（創21）
- ⑥比率が高まる個人の外国人旅行者（FIT）のニーズに対応するため、世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」と連携し、「三重県×トリップアドバイザー外国人おもてなしプロジェクト」を立ち上げ、ステッカーや口コミ促進カードによる啓発や県民への口コミ投稿の呼びかけを行った結果、トリップアドバイザーにおける外国人旅行者の満足度は、全国44位から19位に上昇しました。（創21）
- ⑦官民一体で構成する「三重県外国人観光客誘致促進協議会」内に「みえゴルフツーリズム促進部会」を設置し、事業者に対しセミナーの開催等を通じて意識啓発を図るとともに、パンフレット等のツールを作成して誘客促進を図っています。（創21）
- ⑧「三重県海外誘客促進環境整備補助金」により、多言語表示や無料公衆無線LAN（Wi-Fi）等受入環境の整備促進を図りました。
- ⑨平成27年度の外国人延べ宿泊者数は、昨年の上回る383,280人（速報値）となりました。特に、伊勢志摩サミット開催決定後の下半期の伸び率は、全国1位を記録しました。また、宿泊者数に占める外国人旅行者の割合も2.0%から3.9%に上昇しました。好調なインバウンドのさらなる増加に向け、ターゲットを欧米諸国や富裕層に拡大するとともに、MICE\*誘致にも取り組む必要があります。（創21）
- ⑩三重県バリアフリー観光ガイド「みえバリ」を活用し、バリアフリー観光コンシェルジュ研修を開催し、窓口等における案内機能の強化を図りました。また、バリアフリー観光推進大会では、三重県版バリアフリー観光についての意見をいただくとともに、パーソナルバリアフリー基準についての周知を図りました。今後、ますます高齢化が進みバリアフリー観光のニーズが高まることを見込まれるため、三重県版バリアフリー観光のさらなる推進を図るとともに、増加する外国人旅行者に対応するため、言葉のバリアフリーにも取り組む必要があります。（創21）
- ⑪平成24年に策定した三重県観光振興基本計画で残された課題や社会情勢の変化、三重県観光キャンペーンやインバウンドの取組み成果等をふまえ、三重県観光を持続的に発展させるべく、県内の観光消費額の拡大、観光の産業化の観点から三重県観光振興基本計画（平成28年度～31年度）を策定しました。今後、同計画の目標達成に向けた取組を進める必要があります。

\*「創 番号」のついた項目は、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPIの基本的な取組方向の番号を示しています。

## 【第二次行動計画の関連する施策】

施策332：観光の産業化と海外誘客の促進



## 新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議における主な意見

- ①最近、大都市圏の宿泊施設が満室のため、三重県に宿泊する外国人旅行者が増えている。そういった旅行者が、宿泊だけではなく周辺の観光もしてもらえるように、付近の観光情報を提供してみてもどうか。
- ②観光客に、リピーターからプレーヤーになってもらい定住してもらう時代が来たのではないか。
- ③情報発信の方法で集客力が違ってくる。外国人にも多く読んでもらうために英語のホームページを充実させるべきではないか。
- ④三重県に適したMICEを考えていくべきである。
- ⑤Wi-Fi環境の改善は重要である。アクセスを容易にするとともに、せめて交通機関や観光施設内で使えるようにするべきである。

# 三重県観光振興基本計画の概要 (1/2)

## 第1章 計画の基本的な考え方

- 1 計画策定の趣旨**  
「みえの観光振興に関する条例」第21条の規定に基づき、観光振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画として策定します。
- 2 計画の性格**  
本計画は、県が取り組む観光振興に関する施策等を明らかにした行政計画です。  
また、本計画は、「みえ県民ビジョン」における「協創」の考え方を踏まえ、市町、県民、観光事業者、観光関係団体等さまざまな主体の力を結集し、めざすべき三重県観光の将来の姿とその実現に向けた方向性を共有するための共通指針となるものです。
- 3 計画期間**  
概ね10年先を見据えつつ、平成24年度（2012年度）から平成27年度（2015年度）までの4年間とします。

## 第2章 三重県観光の現状と課題

- 1 観光を取り巻く環境**
  - 人口減少社会の本格化
  - 東日本大震災による観光需要の減少
  - 旅行に関する国民の意識等の変化
  - 観光立国の推進
- 2 三重県観光の現状**
  - 入込客数等の推移
  - 観光旅行者の動向
  - 観光旅行者からの評価
  - 三重県観光に対する期待
  - 観光消費がもたらす経済効果
- 3 三重県観光振興プランの推進による主なる実績と今後の課題**  
平成16年（2004年）11月に策定した「三重県観光振興プラン」に基づき、平成22年度（2010年度）までの6年余の計画期間を通じて、3つの観光戦略を展開しました。  
「観光レクリエーション入込客数」については目標を達成することができたものの、「観光客満足度」については未達成となり課題を残しました。

## 第3章 基本方針と目標

- 1 めざすべき姿**
  - 観光産業の持続的かつ健全な発展が図られていること
  - 県、市町、県民、事業者、関係団体がそれぞれの役割を担いつつ連携が確保されていること
  - 本県の観光資源が有する魅力を生かして県内外からの観光旅行が促進されていること
  - 観光旅行者の満足度の向上が図られていること
  - 本県の観光資源が有効に活用され、かつ、次の世代に継承が図られていること
  - 地域の環境の保全と観光旅行を促進するための環境の整備との調和が図られていること

### 2 基本方針と施策体系

選後も持続する三重県観光のさらなる発展に向けて、以下の基本方針のもと、さまざまな主体が力を合わせ、観光産業を地域に密着した産業として大きく育てる等、施策を展開します。

**(基本方針)**

- 国内外に対する観光宣伝活動の強化
- 魅力ある観光地の形成及び人材の育成
- 観光旅行を促進するための環境の整備

**(施策体系（施策展開の柱））**

- 式年遷宮の好機を生かした国内誘客戦略
- 三重県の特性を生かした海外誘客戦略
- 観光産業の高付加価値化戦略
- おもてなしの心を形にする
- 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり戦略

### 3 計画目標

項目	項目の説明	現状値	目標値 (平成27年度)
観光消費額	観光旅行者が県内において支出した観光消費額（交通費、宿泊費、飲食費、買物費等） 【単位：平成27年度】	4,449億円 (平成22年)	5,250億円
観光レクリエーション入込客数	県内の観光地を訪れた観光旅行者数、全国観光地訪問者数に占める三重県観光旅行者の割合（7段階評価の上位2段階） 【単位：平成27年度】	3,562万人 (平成22年)	4,000万人
観光旅行者満足度評価	県内の観光地を訪れた観光旅行者の満足度（10段階評価） 【単位：平成27年度】	81.1点 (平成22年度)	100点
リピーター率	本県を再び訪れたいと回答した観光旅行者の割合（7段階評価の上位2段階） 【単位：平成27年度】	75.7% (平成22年度)	100%
県内の延べ宿泊者数	県内の宿泊施設における延べ宿泊者数 【単位：平成27年度】	708万人 (平成22年)	800万人
県内の外国人延べ宿泊者数	県内の宿泊施設における延べ外国人宿泊者数 【単位：平成27年度】	106,000人 (平成22年)	150,000人
観光における海外自治体等との連携事業数（累計）	海外の自治体等と連携し、観光旅行者の誘致に結びつけた事業数 【単位：平成27年度】	0件 (平成22年度)	10件

# 三重県観光振興基本計画の概要 (2/2)

## 第4章 三重県観光の持続的な発展に向けた施策の展開

### 1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客

#### 施策展開の方向性

式年遷宮により全国からの注目が集まる絶好の機会を生かして、三重県の観光PRに取り組みむか、首都圏をはじめとする全国各地からの誘客を戦略的に進め、国内からの誘客の拡大をめざします。

- (1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化
- (2) 周遊性・滞在性の向上につながる誘客のしくみづくり
- (3) 体験型観光を通じた教育旅行の誘致

### 2 三重県の特性を生かした海外誘客

#### 施策展開の方向性

三重県が世界に誇る観光資源を活用した情報発信の強化、有望な市場に對するミッションの派遣等により、海外における三重県の認知度を高めるとともに、他府県さらには海外自治体等との連携も図り、海外からの誘客の拡大をめざします。

- (1) 海外の市場動向に應じたプロモーション及び誘客活動の展開
- (2) 国及び他府県との広域連携の推進
- (3) 外国人観光旅行者の受入体制の整備充実

### 3 観光産業の高付加価値化

#### 施策展開の方向性

観光産業を地域に密着した産業として持続的に発展させていくため、観光産業と、ものづくりなり他分野の産業との組み合わせによる新たな価値の創出に取り組みむとともに、観光事業者の経営革新に向けた取組の促進、経営基盤を強化するための環境整備等を進めるなど、観光産業の振興を図ります。

- (1) 観光産業の育成・振興
- (2) 観光産業の複合化による新たなツーリズムへの対応
- (3) 観光産業の高度化につながる県産品の魅力づくり

### 4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり

#### 施策展開の方向性

地域における観光人材の育成、「おもてなし」の向上、郷土三重の良さや地域の魅力の再発見につながる取組の促進、さらには、世界遺産・熊野古道伊勢路の活用など地域が主体的に行う観光地づくりへの支援等を通して、三重県の観光の魅力を高めます。

- (1) 観光地づくりを担う人材の育成（「おもてなし」の向上）
- (2) 県民の観光行動の促進
- (3) 地域の持続的な観光地づくりへの支援  
【地域別観光振興の方向（北勢・中勢・伊勢志摩・伊賀・東紀州）】

### 5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり

#### 施策展開の方向性

快適で美しい観光・交流空間づくり、観光旅行者の利便性の向上、観光旅行における安全の確保、観光振興に資する交通基盤の構築等、三重県への観光旅行を促進するための観光の基盤づくりを進めます。

- (1) 観光地の景観形成・快適な交流空間づくり
- (2) 人によさしい観光地づくり
- (3) 観光旅行の安全・安心の確保
- (4) 観光振興に資する交通基盤等の構築

## 第5章 推進体制の整備

### 1 計画の推進体制

県、市町、県民、観光事業者、観光関係団体がそれぞれの役割を担いながら、連携・協力して本計画を推進します。

### 2 観光統計の整備

観光統計の整備を、観光振興における重要なインフラ構築と位置づけ、市町、観光事業者及び観光関係団体との連携・協力を深め、旅行市場に関する情報・データの把握、観光旅行者の動向調査等、観光に関する情報の収集及び分析等を拡充させていただきます。

### 3 計画の進行管理

本計画を着実に推進していくため、各施策の進捗状況等を把握し、適切に進行管理を行います。また、進捗状況の結果については、年次報告書としてまとめ、公表します。

## 三重県観光振興基本計画の目標項目

### (1) 観光消費額

$$\text{三重県全体の観光消費額} = \sum \text{地域ごとの観光消費額の合計}$$

地域ごとの観光消費額

$$= \text{宿泊入込客観光消費単価} \times \text{宿泊入込客数} + \text{日帰入込客観光消費単価} \times \text{日帰入込客数}$$

\* 宿泊入込客数と日帰入込客数は、地域ごとの観光入込客数に、三重県観光客実態調査による宿泊客と日帰り客の割合を乗じて算出。

\* 観光消費額単価は、三重県観光客実態調査による、一人当たりの交通費、宿泊費、飲食費、買物費、入場料、その他の額の合計額。

【観光政策課調べ】

### (2) 観光レクリエーション入込客数

1年間に観光レクリエーション等の目的で県内の観光地を訪れた人数について全国観光統計基準に基づき集計した推計値

【観光政策課「観光レクリエーション入込客数推計書」】

### (3) 観光旅行者満足度評価点

県内の観光地を訪れた観光旅行者の満足度を100点満点に換算した数値

【観光政策課「観光客実態調査」】

### (4) リピート意向率

本県を再び訪れたいと回答した観光旅行者の割合（7段階評価の上位2段階）

【観光政策課「観光客実態調査」】

### (5) 県内の延べ宿泊者数

県内の宿泊施設における延べ宿泊者数

【観光庁「宿泊旅行統計調査」】

### (6) 県内の外国人延べ宿泊者数

県内の宿泊施設における延べ外国人宿泊者数

【観光庁「宿泊旅行統計調査」】

### (7) 観光における海外自治体等との連携事業数（累計）

海外の自治体等と連携し、観光旅行者の誘致に取り組んだ事業数

【国際戦略課調べ】

三 福 県 観 光 振 興 基 本 計 画 の 目 標 達 成 状 況

目標項目	現況値 (平成22年)	平成23年 の現況値	平成24年 の現況値	平成25年 の現況値	平成26年 の現況値	平成27年 の現況値
(1) 観光消費額	(目標)	<100>	(5,189億円) <116>	(5,680億円) <127>	(5,680億円) <127>	(5,680億円) <127>
	(実績)	4,449億円	4,535億円 <101>	5,342億円 <119>	4,657億円 <104>	4,830億円 <108>
	一人当たり 観光消費額		12,544円	11,976円	13,093円	12,178円
(2) 観光クリエイション入込客数	(目標)			3,650万人	4,000万人	4,000万人
	(実績)	3,562万人	3,787万人	4,080万人	3,824万人	3,921万人
(3) 観光旅行者満足度評価点	(目標)					100点
	(実績)	81.1点	82.5点	81.8点	82.7点	83.2点
(4) リピート意向率	(目標)					100.0%
	(実績)	75.7%	77.8%	83.9%	84.5%	83.1%
(5) 県内延べ宿泊者数	(目標)			720万人	800万人	800万人
	(実績)	708万人	756万人	833万人	969万人	879万人
(6) 県内の外国人 延べ宿泊者数	(目標)		100,000人		120,000人	135,000人
	(実績)	106,000人	90,990人	94,660人	130,890人	178,520人
(7) 観光における海外自治体 との連携事業数(累計)	(目標)	-	-	2件	5件	7件
	(実績)	-	-	3件	10件	14件

### 3 三重県の観光施策の体系 大項目5 - 中項目16 - 小項目78

大項目	中項目	小項目(見出し)
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	① 三重県観光キャンペーンの展開
		② 首都圏営業拠点でのPR、三重県営業本部を通じた情報発信
		③ 大都市圏での情報発信、観光情報提供会
		④ (公社)三重県観光連盟との連携
		⑤ フィルムコミッションとの連携
		⑥ 県ゆかりの著名人やみえの国観光大使によるPR
	(2) 周遊性・滞在性の向上につながる誘客のしくみづくり	① 三重の観光営業拠点運営協議会を通じた地域企画型旅行商品の流通支援
		② 観光圏整備事業の促進
		③ 他府県等との広域連携
④ 各地域における広域連携		
(3) 体験型観光を通じた教育旅行の誘致	① 県外学校の教育旅行の誘致	
	② 県内学校の教育旅行による活用	
2 三重県の特徴を生かした海外誘客	(1) 海外の市場動向に応じたプロモーション及び誘客活動の展開	① トップセールス、ミッション派遣
		② 世界に誇る県内観光資源の発信
		③ ファムトリップ対応、海外への魅力発信
		④ 海外向け旅行モデルコースの設定及び提案
		⑤ 中国・河南省との観光・交流
		⑥ JNTO現地事務所及び駐日外国公館等との連携による情報発信等
	(2) 国及び他府県との広域連携の推進	① ビジット・ジャパン事業、国やJNTOとの連携
		② 広域団体との連携
		③ 中部及び関西の結節点を活用した広域観光ルートの開発
		④ 中部及び関西国際空港における外国人観光旅行者への情報提供
	(3) 外国人観光旅行者の受入体制の整備充実	① 外国人向け観光情報発信
		② 多言語表記等による案内表示
③ 三重県外国人観光客誘致促進協議会を核とした視察・取材の受け入れ		
④ 外客受入研修会、受入対応力向上		
3 観光産業の高付加価値化	(1) 観光産業の育成・振興	① 観光分野の新事業創出や既存事業高度化等を行う中小企業への支援
		② 地域資源を活用したコミュニティビジネスによる経済活動への支援
		③ 観光に関する統計調査の実施
		④ 中小企業の資金調達に係る支援
	(2) 観光産業の複合化による新たなツーリズムへの対応	① グリーン・ツーリズムの推進
		② エコツーリズムの普及促進
		③ 産業観光の促進
		④ ヘルスツーリズムの促進
		⑤ 医療観光の促進
		⑥ スポーツツーリズムの促進
	(3) 観光産業の高度化につながる県産品の魅力づくり	① 三重県営業本部での三重ブランドの魅力PR
		② みえフードイノベーションを通じた商品開発及び県産品認知度向上
		③ みえ地物一番、地産地消情報の提供
		④ 「みえ地域コミュニティ応援ファンド」、「みえ農商工連携推進ファンド」
		⑤ 伝統産業や地場産業の活性化

大項目	中項目	小項目(見出し)	
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(1) 観光地づくりを担う人材の育成(「おもてなし」の向上)	① 「おもてなし」の向上	
		② 観光キーパーソンの育成	
		③ おもてなしの心あふれる観光ボランティアガイドの育成	
		④ 講演会等の開催を通じた観光人材の育成、男女共同参画	
		⑤ 美し国おこし・三重	
		⑥ 東紀州地域振興公社、熊野古道語り部の育成	
		⑦ 宮川流域エコミュージアム、宮川流域案内人の育成	
		⑧ 農林漁業体験等の指導者研修	
	(2) 県民の観光行動の促進	① 観光パンフレットの掲出	
		② 郷土教育の推進	
		③ 歴史的・文化的資産の活用による人材育成・地域づくり	
	(3) 地域の持続的な観光地づくりへの支援	① 観光旅行者の周遊性・滞在性の向上	
		② 地域における観光の魅力づくりへの支援	
		③ 世界遺産熊野古道の保存、活用に向けた関係機関との連携	
		④ 海女や忍者等を活用した三重県観光モデルの構築	
		⑤ 「美し国おこし・三重」を通じた地域づくり活動への支援	
		⑥ 環境に配慮したクリーンな観光地づくり	
		⑦ 市町や地域の広域団体による観光振興計画策定	
		(地域別観光振興の方向)	
	5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(1) 観光地の景観形成・快適な交流空間づくり	① 景観に配慮したまちづくりの促進
			② 街路整備や電線類の地中化
③ 日本風景街道『伊勢熊野みち』推進協議会			
④ 潤いのある水辺空間の創出			
⑤ 自然公園や自然遊歩道等の整備及び維持管理			
(2) 人にやさしい観光地づくり		① ユニバーサルデザインに配慮した施設整備	
		② バリアフリー化の促進	
		③ 熊野古道を歩く観光旅行者の利便性向上	
		④ 多言語表記等による案内表示【2(3)②再掲】	
(3) 観光旅行の安全・安心の確保		① 危機管理情報の収集及び伝達体制づくり	
		② 避難訓練等への支援	
		③ HACCP(ハサップ)、自主衛生管理システムの導入促進	
		④ 食品表示の監視指導	
		⑤ 県管理の道路・河川・海岸等施設の維持管理	
		⑥ 飲食店及び旅館事業者等からの暴力団排除	
(4) 観光振興に資する交通基盤等の構築		① 道路ネットワークの形成推進	
		② 交通網の整備促進や空港等の利用促進	
		③ 熊野古道シャトルバス、二次交通の充実	
		④ パーク&バスライドへの支援	

#### 4 平成 27 年度観光施策の取組状況

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	1(1)① 三重県観光キャンペーンの展開	式年遷宮を三重県への誘客を図る絶好の機会と捉え、市町、県民、観光事業者、観光関係団体のほか、県ゆかりの企業等と連携して、観光キャンペーンを展開します。	<p>○ 官民が連携して「みえ旅パスポート」の発給促進、「みえ旅案内所」及び「みえ旅おもてなし施設」の充実を図りました。 ・みえ旅パスポート発給数 619,251 件 (H28.3 末) ・みえ旅案内所の設置 68 施設 ⇒ 101 施設 ・みえ旅おもてなし施設の募集 640 施設 ⇒ 898 施設 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 5つの地域部会に県内全市町の参画を得て、東海道踏破スタンプラリーの実施、東紀州地域観光PR動画の作成など、県内各地の魅力発見や情報発信、地域連携事業の実施など、地域と一体となった取組を進めました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 伊勢志摩サミット開催、斎宮の日本遺産認定など、県内各地の旬の情報やキャンペーン企画を、オフィシャルガイドブックやエリアパンフレットを活用し発信しました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 首都圏等大都市圏においては、三重テラス、関西事務所、名古屋桜通りカフェを活用しターゲットを絞った情報発信や、メディア等を対象にした企画提案、情報発信を行うとともに、日本最大級の旅博「ツーリズムEXPOジャパン2015」、「女子旅EXPO2015」に出展し、三重の旬の魅力を発信しました。 ・メディア等掲載広告宣伝効果 約6億3千万円 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 民間事業者等との連携では、149社(H28.3末)を超える企業等に協力いただき、商品開発、ロゴマークの活用、PRなど、官民が一体となった三重県の認知度向上に取り組みました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 熊野古道世界遺産登録10周年に併せて、定額料金で高速道路が乗り放題となる「実はそれ、ぜんぶ三重なんです!」ドライブプランを、中日本高速道路株式会社と連携し企画実施しました。(実施期間:平成27年7月1日~11月30日) 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 「おもてなし」の向上、バリアフリー観光や持続的な観光地域づくりを行っていただくために、三重県観光キャンペーンに係わるみえ旅案内所の皆様をはじめ、観光事業者、関係団体等を対象にセミナーを開催いたしました。みえ旅案内所の皆様をはじめ、観光事業者、観光関係団体、地域づくり団体や県・市町等の職員275名の参加をいただきました。</p> <p>第1回:平成27年6月15日(月) プラザ洞津 「地方創生にむけての観光地経営を考える」</p> <p>第2回:平成27年11月2日(月) 三重県教育文化会館 「地域に求められるDMOの構築と観光地マーケティングの導入研修」</p> <p>第3回:平成27年11月20日(金) 四日市ドーム 「バリアフリー観光セミナー(バリアフリーで集客力アップ)」</p> <p>第4回:平成28年2月2日(火) 三重県総合文化センター 「三重県バリアフリー観光コンシェルジュ研修」</p> <p>第5回:平成28年3月16日(水) 三重県総合文化センター 「“してあげたい事”より“されたい事”をしよう!」 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>



大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	1(1)② 首都圏営業拠点でのPR、三重県営業本部を通じた情報発信	現在、設置に向けた検討を進めている営業拠点での観光PR等、「三重県営業本部」による取組を通じて、国内における情報発信を強化します。	<p>○ 日本橋エリアの関係団体や他県アンテナショップ等の企画やイベント等と連携し、首都圏でのさらなるネットワークの強化と拡大を図るとともに、三重県の大きな魅力のひとつである「食」を情報発信の軸として、展示や講座の展開など、「食」の産業振興に沿った三重の魅力の情報発信を進めたほか、三重の“宝”魅力発信講座（2講座全4回）を設けるなど、情報発信やコアな三重県ファンづくりを推進しました（三重テラスイベントスペースでの年間イベント実施176件）。また、首都圏・関西圏において、包括協定締結企業との連携等による三重県フェアを開催し、観光情報の発信及び「食」や「モノ」を通じた三重の認知度向上等を図りました（開催延べ日数 首都圏180日、関西圏108日）。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部三重県営業本部担当課】</p> <p>○ 首都圏営業拠点「三重テラス」では、①三重県観光キャンペーンの最終年度に向けた全庁・市町・民間事業者等との連携による情報発信の戦略的展開、②三重テラス、関西事務所における「応援団（三重の顧客）」の拡大と県外自治体・民間・NPOとの連携体制の強化、③28年、29年度等の誘客キラーコンテンツの“事前告知”国内外への発信、④三重県ブランド向上に向けたテーマ毎の情報発信の4つの展開により情報の質と量の向上を図り、平成27年度の来館者数は674,256人、対前年度比119%となりました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部三重県営業本部担当課】</p> <p>○ 関西圏において以下の取組を行いました。</p> <p>1 効果的な情報発信</p> <p>(1) パブリシティの強化</p> <p>日本旅のペンクラブ、関西レジャー記者クラブ、旅行雑誌などマスコミへの情報提供や、プレスツアー（5回）やマスコミキャラバン（13回延べ58社訪問）を市町等と連携して実施し、三重の旬の情報を発信。</p> <p>また、インフォメーションブース等を活用した情報発信を展開（大阪「みちまちスクエアきた」での「日本列島 心のふるさと観光展（毎月：パンフレット、ポスター設置）」、観光PRディスプレイ（随時）、各商店街でのディスプレイ（随時）など）。</p> <p>さらに、LINE、フェイスブック等を活用し、関西圏でのイベント情報など旬の情報を発信。</p> <p>(2) 「食」に関する観光展・物産展への出展等</p> <p>「熊野古道」、「忍者」、「女子旅」等テーマや対象を明確にした観光展を通じたPRを関係市町等と連携して実施。（関空旅博2015（5月）、トラベルガールズフェスタ（10月）などへ出展）</p> <p>また、イオンモール京都桂川での三重県フェア（9月）、関西圏各地で開催される観光展、物産展等で三重の観光PR、食等の魅力体験、イベント等の情報発信をするなど三重の魅力を伝える観光展・物産展へ出展。（神戸まつり（5月）、第4回にほんのお酒（6月）、法善寺水掛不動尊表参道まつり（7月）、セレッソ大阪ファン感謝デー（8月）、山の日制定記念 水都おおさか森林の市2015（10月）など）</p> <p>(3) 歴史・文化・「食」をキーワードとした情報発信</p> <p>歴史、文化、「食」に関心のある人が、三重のコンテンツの魅力を知り、さらに関心を高めていただくための参加型イベントを実施。（伊勢ひじき おいしさの秘密（講座）（10月）、「伊勢茶～手もみ茶づくりを体験しよう～」お茶の大学×関西事務所講座（12月）、伊勢志摩サミット開催記念講座「真珠～三重の海が育んだ輝き～」（1月）、伊勢志摩サミット開催記念ハグミュージアムイベント（3月）など）</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	1(1)② 首都圏営業拠点でのPR、三重県営業本部を通じた情報発信	現在、設置に向けた検討を進めている営業拠点での観光PR等、「三重県営業本部」による取組を通じて、国内における情報発信を強化します。	<p>2 観光誘客</p> <p>(1)みえ旅案内所として「みえ旅パスポート」を発給。</p> <p>(2)マスコミや旅行会社等への営業活動 県内観光関連事業者等と連携し、マスコミや関西圏の地域に根ざした旅行会社を訪問し、官民一体となった観光誘客活動を実施。また、関西圏の小学校を訪問し、三重県への修学旅行、社会見学の誘致を支援（12月）。</p> <p>3 「食」の販路拡大支援</p> <p>(1)流通事業者・飲食店事業者等とのネットワークの構築 大阪商工会議所等で開催される各種商談会について、本庁関係課等への情報提供、県内市町等へ関西圏の商談会等の紹介や出展を支援。また、三重県産品、地元生産事業者の紹介、生産現場への誘致を展開。観光情報や産業情報等の三重県の旬な情報を提供。</p> <p>4 多様なネットワークの充実・強化による営業活動</p> <p>(1)関西経済界とのネットワークの充実・強化 これまで構築してきた県人会、同窓会とのネットワークを活用し、関西圏で伊勢志摩サミット等を情報発信。また、関西経済界、マスコミ、学界等の第一線で活躍する方を、三重県・関西連携交流委員会として、会報誌シェイクハンズを季刊で発行し、観光情報や産業情報等の三重県の旬な情報を提供。</p> <p>(2)各三重県人会等を活用した取組 大阪三重県人会を中心に、関西地区の各県人会、各高校同窓会が主催するに「関西三重県人のつどい（10月）」において、三重県の観光・物産等をPR。</p> <p>(3)三重の応援団等 三重の応援団、応援企業、応援店舗の登録を進め、SNS等を活用し、三重の魅力を情報発信。</p> <p style="text-align: right;">【関西事務所】</p> <p>○ 三重県特有の歴史・文化資源を活用し、首都圏営業拠点「三重テラス」、大阪の「近鉄文化サロン阿倍野」において、みえの文化を体感できるセミナーを、各文化施設が開催しました。（三重テラス4回 計141名、近鉄文化サロン阿倍野4回 計100名）</p> <p style="text-align: right;">【環境生活部文化振興課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	1(1)③ 大都市圏での情報発信、観光情報提供会	首都圏、関西圏、中京圏等の大都市圏において、メディアを活用した情報発信に取り組むほか、旅行会社等関係者に対する説明会を通じた働きかけ等により、三重県への誘客を促進します。	<p>○ 式年遷宮から続く桑名市、亀山市の一の鳥居の建替えやHONDAのF1グランプリへの参戦など県内の観光トピックやエリア、ターゲットを考慮した上で、県内の様々なスポットを幅広く紹介することで、三重県の多様な魅力を訴求するような情報発信を展開しました。また、フェイスブック、LINEなどのSNSを積極的に活用し、情報を広めることに加え、交通事業者や他県との連携を深め、情報交換を積極的に行うことで、効率の良い広報宣伝を実施しました。</p> <p>エリア別 (首都圏・全国へ向けての情報発信) ・首都圏で開催されるイベントでは、20代、30代の女性が集う「女子旅EXPO2015」や、全国規模の観光展である「ツーリズムEXPOジャパン2015」等において、三重の魅力を発信することで誘客促進を図りました。</p> <p>また、首都圏のメディア、エージェンツ等を対象に三重県観光交流会を開催し、旬の情報を発信することで、本県の露出を図りました(396名来場)。</p> <p>(関西圏・中京圏での情報発信) ・関西事務所と連携し、各種イベントへの出展やPRを実施することで、コアな三重ファンを獲得するための情報提供を行い、中京圏では、名古屋桜通りカフェを拠点とした情報発信を展開しました。</p> <p>また、メディア、エージェンツ等を対象に関西圏・中京圏で各2回観光情報説明会を開催し、旬の情報を発信することで、本県の露出を図りました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	1(1)④ (社)三重県観光連盟との連携	(社)三重県観光連盟等と連携して、三重県への来訪の動機づけを行う観光情報の発信に取り組めます。	<p>○ 三重県観光キャンペーンの情報発信において、(公社)三重県観光連盟の事業と連携し、観光関係事業者等との官民協働による情報発信力の強化に努めました。具体的には、ホームページ「かんこうみえ」のサイト内に、観光キャンペーンのホームページを設け、三重県内の観光情報と併せた発信を行うとともに、季刊紙「観光三重」など、観光連盟が持つツールを活用した県内の魅力発信に取り組めました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 情報発信ツールとして活用が広がっているSNSを活用し、フェイスブック、ツイッター及びLINEでの情報発信に取り組みました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ (公社)三重県観光連盟のフリーダイヤルや窓口等への問い合わせに対し、三重県の観光案内を行いました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	1(1)⑤ フィルムコミッションとの連携	県内のフィルムコミッションとの連携を図りながら、三重県を舞台とした映画、テレビ番組等とタイアップした観光情報の発信を行います。	<p>○ 平成27年5月に伊賀市でロケが行われた映画「手裏剣戦隊ニンニンジャー THE MOVIE 恐竜殿さまアップレ忍法帖！」(平成27年8月公開)をPRするために、滋賀県と共同でロケ地周辺地域の観光情報を紹介するロケ地マップを60,000部作成しました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 平成28年3月に桑名市を中心とした北勢地域でロケが行われた映画「KUHANA！」(平成28年9月公開)をPRするため平成28年3月14日に県庁内で製作発表を行いました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	1(1)⑤ フィルムコミッションとの連携	県内のフィルムコミッションとの連携を図りながら、三重県を舞台とした映画、テレビ番組等とタイアップした観光情報の発信を行います。	○ 平成 28 年 2 月に県内へのロケ地誘致を図るため、県内フィルムコミッションと共同で在京の映像制作会社を訪問しプロモーション活動を行いました。  【雇用経済部観光局観光誘客課】
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	1(1)⑥ 県ゆかりの著名人やみえの国観光大使によるPR	三重県ゆかりの著名人等の協力を得て、三重県の観光魅力のPRに取り組みます。	○ 知名度と情報発信力が高い3名(柴犬まる、小椋久美子さん、夢眠ねむさん)を新たにみえの国観光大使に委嘱しました(H28.3.31現在、計36名)。就任式では、新大使から三重県観光キャンペーンをはじめとする三重の観光について、メディアに対して情報発信いただきました。  【雇用経済部観光局観光政策課】  ○ 一部の大使の方に観光審議会の委員になっていただくとともに、三重県観光キャンペーンや観光交流会をはじめとするイベントへの出席を通して、三重の魅力を強くPRしていただきました。  【雇用経済部観光局観光政策課】  ○ 経済界や芸能界など大使の各活動分野において、三重の観光PRをしていただくため、各大使に、名刺をはじめ、観光入込客数など観光の現状がわかる資料、三重県観光キャンペーンオフィシャルガイドブック、観光イベント情報誌、特産品等、三重の観光に関する情報等を送付しました。  【雇用経済部観光局観光政策課】
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(1) 式年遷宮の好機を生かした観光PR・誘客のさらなる強化	1(1) プレミアム旅行券の発行		○ 「みえ旅プレミアム旅行券」を発行し、更なる地域の消費喚起・拡大を図る取組を展開しました。 ・旅行券利用枚数 200,656枚 ・旅行券実施による消費喚起効果(推計) 約24億5,800万円  【雇用経済部観光局観光誘客課】
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(2) 周遊性・滞在性の向上につながる誘客のしくみづくり	1(2)① 三重の観光営業拠点運営協議会を通じた地域企画型旅行商品の流通支援	市町等が参画する「三重の観光営業拠点運営協議会」を通じて、地域が主体となって企画した旅行商品の流通を支援することにより、県内での周遊性・滞在性を高めます。	○ 本協議会は、県と会員13市町が負担する会費により運営しており、平成27年度の事業実施期間は平成27年10月1日～平成28年9月30日となっています。 平成27年度は、これまでの本協議会事業で構築できた「観光プラットフォーム」を生かし、今後の広域的な観光振興を推進するため、以下3つの方向で取組を展開しました。 ①着地型旅行商品の造成 ②中京圏における三重の観光営業拠点(桜通りカフェ)の活用 ③インターネット等を活用した情報発信及び誘客促進  【雇用経済部観光局観光誘客課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
1 式年遷宮 の好機を 生かした 国内誘客	(2) 周遊性・滞 在性の向 上につな がる誘客 のしくみ づくり	1(2)② 観光圏整 備事業の 促進	観光地が連携し て2泊3日以上の 潜在が可能な 観光圏の形成を めざした伊勢志 摩及び東紀州の 両地域における 観光圏整備事業 を促進します。	○ 伊勢志摩観光コンベンション機構における「伊勢志摩観光振興プラン」(平成 26 年版)の実現に向け、連携して事業を実施しました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】
1 式年遷宮 の好機を 生かした 国内誘客	(2) 周遊性・滞 在性の向 上につな がる誘客 のしくみ づくり	1(2)③ 他府県等 との広域 連携	「吉野・高野・熊 野の国」をテーマ とする各種イベ ントの開催、「中 部広域観光推進 協議会」による広 域観光ルートの 設定をはじめ、他 府県等との広域 連携の取組を進 めます。	○ 奈良県や島根県等とは、古事記・日本書紀、遷宮を共通テーマにした首都圏での連携講座(2回)やオープンカレッジ(1回)、関西圏でのシンポジウム(1回)を行うとともに、記念シンポジウムにおける観光PR(2回)を行いました。 【雇用経済部観光局観光政策課】  ○ 日本観光振興協会関西支部における関西ブロック広域観光振興事業を通じ、事業の推進協議会を構成する団体と連携して情報発信等に取り組みました。 【雇用経済部観光局観光政策課】  ○ 中部広域観光推進協議会が行う「昇龍道」トップミッションへの参加、「ツーリズムEXPOジャパン2015」への出展等を通じて、中部各県との連携を深めるとともに、広域的な観光情報の発信に取り組みました。 【雇用経済部観光局観光政策課】  ○ 奈良県、島根県等5県が連携し、「古代歴史文化賞」の発表会・賞贈呈式(東京:帝国ホテル11/4)や記念シンポジウム(東京:銀座プロッサムホール2/6)を開催し、また奈良県、島根県等14県と連携して共同調査研究を行い、中間発表としてシンポジウム(東京:よみうり大手町ホール11/15)を開催しました。 【環境生活部文化振興課】  ○ 「吉野・高野・熊野の国」における集客力の向上を目的とした情報発信や、30代、40代の女性を主なターゲットとしたメディアミックス(紙媒体、インターネット、SNS)による誘客プロモーションを実施しました。 【地域連携部南部地域活性化局東紀州振興課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(2) 周遊性・滞在性の向上につながる誘客のしくみづくり	1(2)③ 他府県等との広域連携	「吉野・高野・熊野の国」をテーマとする各種イベントの開催、「中部広域観光推進協議会」による広域観光ルートの設定をはじめ、他府県等との広域連携の取組を進めます。	<p>○ 日本橋周辺のアンテナショップとの連携、サミットを契機とした関係他県のアンテナショップとの連携したイベントを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本橋に立地する福島県、奈良県、島根県の各県アンテナショップと三重テラスが連携し、「YUITO 春まつり」の開運クイズラリーに参加（4/4～4/5）</li> <li>・奈良県アンテナショップと連携し、三重と奈良の桜や藤など、花の見どころを近鉄沿線を中心にパネルでご紹介する「三重×奈良春の花街道パネル展示」（3/30～4/5）、女性同士ならではの旅の楽しみ方を紹介する展示、講座などを実施する「女子旅のススメ」（6/3～6/9）</li> <li>・伊勢志摩サミット開催決定記念キャンペーンとして、過去のサミット開催県である北海道、沖縄のアンテナショップと「三重テラス」の3館をめぐるスタンプラリー（7/28～8/31）及び、関係関係会議開催県のアンテナショップと「三重テラス」の11館をめぐる「伊勢志摩サミット・関係関係会議開催県アンテナショップスタンプラリー」を開催。</li> <li>・広島県とのコラボキャンペーンとして、広島県アンテナショップと「三重テラス」において両店のレストランの牡蠣メニューを味わうスタンプラリー形式の「三重×広島カキフェア」を開催（1/22～2/29）</li> <li>・東大和・西三重（名張市・伊賀市・津市、奈良県宇陀市・曾爾村・御杖村の地域）をPRするパネル等展示（8/28～9/9）及び講演会（8/29）を開催。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【雇用経済部三重県営業本部担当課】</p>
1 式年遷宮の好機を生かした国内誘客	(2) 周遊性・滞在性の向上につながる誘客のしくみづくり	1(2)④ 各地域における広域連携	「北伊勢広域観光推進協議会」、「(社)伊勢志摩観光コンベンション機構」、「東紀州地域振興公社」等、各地域における広域連携の取組を支援します。	<p>○ 北伊勢広域観光推進協議会について、三重県観光キャンペーン推進協議会北勢地域部会の取組の一環として参画するとともに、花と食の回廊スタンプラリーに対し連携して情報発信等に取り組みました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 伊勢志摩観光コンベンション機構を通じて、三重県観光の核である伊勢志摩地域が一体となって観光情報の発信や誘客促進などに取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外で開催されるイベント等における情報発信（観光PR）</li> <li>・フィルムコミッションや教育旅行誘致活動等を通じた、伊勢志摩の魅力発信</li> </ul> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 式年遷宮で伊勢志摩地域に注目が集まった契機を捉え、さらなる伊勢志摩地域のブランド化、域内周遊、宿泊促進を図るため、伊勢志摩地域最大の魅力である伊勢神宮をメインテーマに実施する「伊勢志摩キャンペーン」に参画し、地域と一体となって、平成28年に控える伊勢志摩サミットや伊勢志摩国立公園指定70周年も視野に入れながら、伊勢志摩地域内の周遊性・滞在性の向上に取り組みました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 東紀州地域の魅力を発信するために、市町等多様な主体と連携し地域の資源や魅力を生かした事業を展開したり、商談会等への出展支援や通販事業者へのセールスにより、消費者ニーズの把握や販路拡大につなげるなど観光振興、産業振興等の面で地域コーディネーターとしての役割を担う、東紀州地域振興公社に対して支援しました。</p> <p style="text-align: right;">【地域連携部南部地域活性化局東紀州振興課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
1 式年遷宮 の好機を 生かした 国内誘客	(2) 周遊性・滞 在性の向 上につな がる誘客 のしくみ づくり	1(2)④ 各 地 域 に お け る 広 域 連 携	「北伊勢広域観 光推進協議会」、 「(社)伊勢志摩 観光コンベンシ ョン機構」、「東 紀州地域振興公 社」等、各 地 域 に お け る 広 域 連 携 の 取 組 を 支 援 し ま す。	○ 三重県南部地域活性化基金を活用し、玉城町、度会町、南伊勢町 が連携して行う取組に対して支援しました。 ・サニーロード沿線マップをリニューアルし、沿道の店舗で使える クーポン掲載とスタンプラリーを行うとともに、高速SA（土山、 御在所、安濃）等で配布しました。 ・3町合同の産直市「サニー市」を平成27年11月から計3回開催 するとともに、ノベルティグッズ（3町ご当地キャラクリアファ イル）を作成し、PRイベント等で配布しました。 ・サニーロードの魅力をPRするため、WEBサイトを開設しまし た。 ・新たな名物グルメ開発のため、特産品を使ったレシピコンテスト を実施しました。 ・地域資源を生かした体験プログラムを盛り込んだモニターツアー を実施しました。 【地域連携部南部地域活性化局南部地域活性化推進課】
1 式年遷宮 の好機を 生かした 国内誘客	(3) 体験型観 光を通じ た教育旅 行の誘致	1(3)① 県外学校 の教育旅 行の誘致	「伊勢志摩学生 団体誘致委員会」と連携し、首都圏 の中学校を訪問 するとともに、体 験学習発表会を 開催する等、首都 圏からの修学旅 行の誘致活動を 進めます。また、 阪神なんば線や 新名神高速道路 の開通に伴い、三 重県へのアクセ スが向上した関 西圏西部の小学 校を訪問し、同地 域からの誘致に も取り組みます。	○ 観光関連緊急雇用創出事業で実施した修学旅行誘致意向実態調査 の結果に基づき立案された戦略を踏まえ、伊勢志摩地域・三重県各 地域への修学旅行誘致に繋がる展開を図りました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】  ○ 伊勢志摩学生団体誘致委員会、三重県東京事務所及び関西事務所 と連携し、首都圏の中学校及び関西圏の小学校を訪問するなど、修 学旅行の誘致活動を展開しました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】
1 式年遷宮 の好機を 生かした 国内誘客	(3) 体験型観 光を通じ た教育旅 行の誘致	1(3)② 県内学校 の教育旅 行による 活用	県内及び近隣府 県の小中学校担 当者等を対象と して、海や山での 体験、工場見学と いったさまざま な体験メニュー を掲載した「三重 県体験学習ガイ ドブック」等を活 用して、教育旅行 の目的地として の三重県をPR します。	○ 東紀州振興課や伊勢志摩学生団体誘致委員会と連携し、体験メニ ューを掲載した「東紀州楽習旅行ガイド」や「三重県伊勢志摩にお いさないさあ」を県内小中学校や教育委員会に配布するなど、三重の 教育旅行を紹介しました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(1) 海外の市場動向に応じたプロモーション及び誘客活動の展開	2(1)① トップセールス、ミッション派遣	トップセールスをはじめ、現地関係者・キーパーソンに直接働きかけるミッション派遣等を、海外の有望市場を対象として実施することにより、三重県の認知度を向上させます。	<p>○ 平成 27 年 7 月に知事を団長としたミッション団を欧州へ派遣し、フランスにおいて忍者・海女の PR を行いました。また、同様に平成 28 年 1 月にはミッション団を台湾へ派遣し、高雄市との MOU を締結したほか、知事が台湾観光局長、高雄市長らと会談しトップレベルでの関係をさらに強化するとともに、高雄市内の主要旅行会社へのトップセールスを実施しました。 【雇用経済部観光局海外誘客課】</p> <p>○ 平成 27 年 11 月に知事を団長としたミッション団をタイへ派遣し、航空会社や現地旅行エージェン特へのトップセールスを実施したほか、アジアの中でも先進的な活動を進めているゴルフツーリズム団体と面談し、ゴルフツーリズムを通じた海外誘客戦略について意見交換を行いました。 【雇用経済部観光局海外誘客課】</p>
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(1) 海外の市場動向に応じたプロモーション及び誘客活動の展開	2(1)② 世界に誇る県内観光資源の発信	伊勢神宮、真珠、忍者、松阪牛など、三重県が世界に誇る観光資源を活用し、海外に対して三重県を強く印象づけるブランドイメージを形成するとともに、強力で発信していきます。	<p>○ 「伊賀流忍者観光推進協議会」において、ホームページ上での情報発信やロゴマークの活用など、国内外への伊賀流忍者の情報発信に取り組みました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 「海女振興協議会」において、海女サミット 2015 や日韓国交正常化 50 周年記念事業に参画するなど、国内外への海女文化の情報発信や文化交流事業を実施し、海女文化の振興・継承を図りました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 平成 25 年 4 月から 3 年間、県民や市町、企業等と一体となり展開している「三重県観光キャンペーン」とも連携し、忍者・海女といった世界に誇る観光資源を積極的に活用した観光振興に取り組みました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(1) 海外の市場動向に応じたプロモーション及び誘客活動の展開	2(1)③ ファムトリップ対応、海外への魅力発信	海外のメディア、旅行関係者等による県内視察・取材の招聘・受入に積極的に取り組むほか、当該メディアやインターネット等を活用して、三重県の魅力を直接、海外に伝えます。	<p>○ 海外メディアや旅行関係者等による県内視察については、59 件の受入を行いました。（なお伊勢志摩サミット三重県民会議等によるサミット関連のプレスツアーが平成 27 年度中に別途 16 件（内 1 件は海外誘客課と共催）実施されています。） また、インターネット等を活用した情報発信については、三重県観光の外国語ホームページで 422,080 件のアクセスがあったほか、フェイスブック、ツイッターで 469 件の発信を行い、本県の魅力発信に取り組みました。その結果、フェイスブックでは 16,476 件の「いいね」を得ることができました。 【雇用経済部観光局海外誘客課】</p>



大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(1) 海外の市場動向に応じたプロモーション及び誘客活動の展開	2(1)④ 海外向け旅行モデルコースの設定及び提案	国・地域別のマーケティングを通じて、県内各地の温泉と伊勢海老等のグルメを組み合わせたコース、アウトレットモール、おかげ横丁等でのショッピングや食べ歩きを中心としたコース、熊野古道伊勢路をはじめ歴史的・文化的景観、建造物等を巡るコースなど、三重県らしさを前面に押し出した具体的なモデルコースを設定し、海外の旅行会社に対して提案する等の働きかけを行います。	○ ミッション派遣や現地でのセールスコール（旅行会社訪問）などで、三重県の魅力ある具体的なモデルコースを提案したほか、旅行会社の県内視察を通じて、観光資源を体験していただきました。その結果、ブログ等のネット配信（2 件）、雑誌・旅行ガイドへの本県関係の記事掲載（10 件）、現地テレビ番組の放映（5 件）や旅行商品の造成（8 件）につながりました。 【雇用経済部観光局海外誘客課】
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(1) 海外の市場動向に応じたプロモーション及び誘客活動の展開	2(1)⑤ 中国・河南省との観光・交流	中国河南省との「観光・交流の推進に関する協定書(2011年8月)」に基づき、観光・交流の拡大を推進します。	○ 平成 27 年度は、両国間の情勢は好転しつつありましたが、中国河南省との観光関係の事業を実施するには至りませんでした。 【雇用経済部観光局海外誘客課】
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(1) 海外の市場動向に応じたプロモーション及び誘客活動の展開	2(1)⑥ JNTO 現地事務所及び駐日外国公館等との連携による情報発信等	世界各地に展開している日本政府観光局(JNTO)の現地事務所、駐日外国公館等との協力関係を深め、誘客につなげるための情報交換、海外に向けた情報発信に取り組めます。	○ 世界各国に事務所を持つ JNTO と協力して、プロモーションの際に有効な各国（地域）での旅行トレンドや好まれる素材等について情報収集を行い、SNS や招請事業を通じて三重県の情報提供を実施しました。 【雇用経済部観光局海外誘客課】
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(1) 海外の市場動向に応じたプロモーション及び誘客活動の展開	2(1) プレミアム旅行券の発行		○ 「みえ外国人旅行者旅行券事業」の実施により、外国人旅行者向けに県内で使用できる宿泊券や旅行券を提供し、新たな外国人旅行者の呼び込みと地域における消費喚起・拡大を図りました。 ・宿泊券（ネット通販）7,868 枚、宿泊券付レールパス 334 枚、商品券 23,500 冊 ・事業実施による消費喚起効果（推計）約 32 億 9,800 万円 【雇用経済部観光局海外誘客課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
2 三重県の 特性を生 かした海 外誘客	(2) 国及び他 府県との 広域連携 の推進	2(2)① ビジット・ ジャパン事 業、国やJ NTOとの 連携	国のビジット・ジ ャパン事業の活 用等、国及び日本 政府観光局(JN TO)と連携した 各種プロモーシ ョンに取り組み ます。	<p>○ 「みえ国際展開に関する基本方針」に基づきターゲット市場を選 定してプロモーションに取り組むとともに、JNTO等が実施する イベントやメディア招請の機会を積極的に活用し、本県の観光資源 の露出拡大及び誘客促進を図りました。</p> <p>(台湾) 近畿日本鉄道、中部国際空港、関西国際空港等民間関係者と連携 し、旅行博出展等による宣伝活動などにより認知度向上をはかると ともに、メディア・旅行会社招請により、「近鉄レールバス」の利 用促進を通じた三重県への誘客促進に取り組みました。</p> <p>(香港) 和歌山県等と連携し、レンタカーによる訪日旅行の実績の多い香 港市場をターゲットに、関西国際空港と中部国際空港を結ぶ紀伊半 島周遊エリアをドライブ・ツーリズム・コースとして定着させるこ とを目指し、メディア招請を行いました。</p> <p>(フランス) 三重県固有の歴史・文化資源の魅力を確立すべく、旅行会社への セールスコールや旅行会社招請を実施しました。</p> <p>(東南アジア) 奈良県、和歌山県等と連携し、タイ、マレーシアなど東南アジア からの誘客に向け、旅行博・商談会への出展や旅行会社へのセール スコール等を実施しました。</p> <p>(韓国) 中部国際空港等と連携し、メディア招請等、旅行商品造成のため の事業を行いました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局海外誘客課】</p>
2 三重県の 特性を生 かした海 外誘客	(2) 国及び他 府県との 広域連携 の推進	2(2)② 広域団体 との連携	「中部広域観光 推進協議会」、「東 海地区外国人観 光客誘致促進協 議会」、「関西広 域連合」等の広域 団体との連携に より、ミッション 派遣や海外観光 展をはじめとす るプロモーション の実施等、スケ ールメリットを 生かした誘客活 動を展開します。	<p>○ 広域団体の主催するプロモーション・商談会や招請事業に県内観 光事業者とともに参加し、一体となって観光情報を発信することに より、三重県の観光をPRしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西地域振興財団による台湾商談会 (9月1日～5日)</li> <li>・ 関西地域振興財団による韓国プロガーファム (11月17日～19日)</li> <li>・ 中部広域観光推進協議会によるインドネシア旅行会社招請 (2月 24日) 等</li> </ul> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局海外誘客課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(2) 国及び他府県との広域連携の推進	2(2)③ 中部及び関西の結節点を活用した広域観光ルートの開発	中部及び関西の両圏域の結節点に位置する地理的特性を生かした広域観光ルートを、他府県等と連携して開発します。	<p>《2(2)①一部再掲》</p> <p>○ 「みえ国際展開に関する基本方針」に基づきターゲット市場を選定してプロモーションに取り組むとともに、JNTO等が実施するイベントやメディア招請の機会を積極的に活用し、本県の観光資源の露出拡大及び誘客促進を図りました。</p> <p>(香港)</p> <p>和歌山県等と連携し、レンタカーによる訪日旅行の実績の多い香港市場をターゲットに、関西国際空港と中部国際空港を結ぶ紀伊半島周遊エリアをドライブ・ツーリズム・コースとして定着させることを目指し、メディア招請や旅行会社へのセールスコールを行いました。</p> <p>(東南アジア)</p> <p>奈良県、和歌山県等と連携し、タイ、マレーシアなど東南アジアからの誘客に向け、旅行博・商談会への出展や旅行会社へのセールスコール等を実施しました。</p> <p>【雇用経済部観光局海外誘客課】</p> <p>○ 観光庁の認定する「広域観光周遊ルート形成計画」の一つである「昇龍道」において、三重県から4地区(伊賀・甲賀地区、伊勢・鳥羽・志摩地区、熊野古道伊勢路地区、北勢地区)が広域観光拠点地区に指定されました。</p> <p>【雇用経済部観光局海外誘客課】</p>
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(2) 国及び他府県との広域連携の推進	2(2)④ 中部及び関西国際空港における外国人観光旅行者への情報提供	中部及び関西国際空港において、関係自治体、団体等と共同して観光案内所を運営することにより、案内業務のほか外国語パンフレットの掲出等、外国人観光旅行者に対する情報提供を行います。	<p>○ 中部国際空港の観光案内所に外国語パンフレットを提供することにより三重県の観光をPRし、三重県への誘客を図りました。なお、関西国際空港については、広域観光案内推進協議会への参加を見合わせたことから、パンフレットの設置は行っていませんが、同空港も参加する国のデジタル・ジャパン事業を通じて広域PRを推進することにより、同空港からの外国人旅行者の誘致に取り組んでいます。</p> <p>【雇用経済部観光局海外誘客課】</p>
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(3) 外国人観光旅行者の受入体制の整備充実	2(3)① 外国人向け観光情報発信	外国語ホームページ、外国語パンフレットの充実を図ります。特に、ホームページにおいては、外国人観光旅行者が県内で移動・滞在する際に、役立つ情報の提供(交通アクセスや観光案内所等)に取り組めます。	<p>○ 三重県観光の外国語のホームページ(アクセス数422,080件)とフェイスブック等SNSで積極的な情報発信を行い(469件)、フェイスブックでは16,476件の「いいね」を得るなど実際に旅行する外国人旅行者にとって利便性が高いものになりました。特にホームページについては、トリップアドバイザーとの連携事業の一つとして、同口コミサイトと連携した新たな県のホームページ「Mie Travel Guide」を構築し、個人の外国人旅行者(FIT)の利便性の向上を図りました。その結果、トリップアドバイザーにおける外国人旅行者の満足度は、全国44位から19位に上昇しました。</p> <p>【雇用経済部観光局海外誘客課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(3) 外国人観光旅行者の受入体制の整備充実	2(3)② 多言語表記等による案内表示	県内の主要な観光地、交通結節点での多言語表記等、案内表示の設置を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光施設等が外国語の案内表示を作成する際の翻訳サポートを行いました。 【雇用経済部観光局海外誘客課】</li> <li>○ 無料公衆無線 LAN (Free WiFi-MIE) について、民間通信事業者 (7 社) の協力を得て、民設民営方式で Free WiFi-MIE の拡大を図りました。 また、三重県海外誘客促進環境整備補助金事業を実施し、消費税免税店開設準備 (16 箇所)、施設内外国語表記等改善 (39 箇所)、無料公衆無線 LAN 整備 (54 箇所) の環境整備を支援しました。 【雇用経済部観光局海外誘客課】</li> <li>○ 県管理道路の案内標識について、標識令等に基づく英語表示の併用など、分かりやすい表記に取り組みました。 【県土整備部道路管理課】</li> </ul>
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(3) 外国人観光旅行者の受入体制の整備充実	2(3)③ 三重県外国人観光客誘致促進協議会を核とした視察・取材の受け入れ	県、市町、観光事業者等が参画する「三重県外国人観光客誘致促進協議会」を核として、海外のメディア、旅行関係者等による県内視察・取材の受け入れに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台湾、香港、タイ、マレーシアなど三重県が海外誘客に重点的に取り組む国からのメディア取材や旅行関係者等による視察を積極的に受け入れ、またベトナムや韓国などからの取材や視察も実施しました。 【雇用経済部観光局海外誘客課】</li> </ul>
2 三重県の特性を生かした海外誘客	(3) 外国人観光旅行者の受入体制の整備充実	2(3)④ 外客受入研修会、受入対応力向上	外客受入研修会の開催等を通じて、外国人観光旅行者の受入対応力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内 4 地域で基礎、専門研修を実施するとともに、宿泊施設や観光施設での実地研修、外国語研修などを実施 (延べ 414 名の参加) し、外国人観光客が安心して本県を訪問できる環境の整備を図りました。 【雇用経済部観光局海外誘客課】</li> </ul>
3 観光産業の高付加価値化	(1) 観光産業の育成・振興	3(1)① 観光分野の新事業創出や既存事業高度化等を行う中小企業への支援	観光分野における新事業の創出や既存事業の高度化、観光分野への新たな進出等に取り組む中小企業に対し、関係団体と連携した総合的な支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みえ地域コミュニティ応援ファンド」については、35 件を採択し、「みえ農工商連携推進ファンド」については 5 件を採択し、その取組を支援しました。 【雇用経済部中小企業・サービス産業振興課、地域資源活用課】</li> </ul>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
3 観光産業 の高付加 価値化	(1) 観光産業 の育成・振 興	3(1)② 地域資源 を活用し たコミュ ニティビ ジネスに よる経済 活動への 支援	観光やまちづく り等の地域課題 の解決を図るた め、地域の資源を 活用したコミュ ニティビジネス による持続可能 な経済活動の取 組を支援します。	《3(1)①再掲》 ○ 「みえ地域コミュニティ応援ファンド」については、35件を採択し、「みえ農工商連携推進ファンド」については5件を採択し、その取組を支援しました。 【雇用経済部中小企業・サービス産業振興課、地域資源活用課】
3 観光産業 の高付加 価値化	(1) 観光産業 の育成・振 興	3(1)③ 観光に関 する統計 調査の実 施	市町、観光事業者、観光関係団体等、関係者の協力を得ながら、観光に関する統計調査や動向調査を継続的に実施します。また、それらの結果については、関係者との共有を進め、地域における観光の魅力づくり・人づくりのほか、観光事業者による「おもてなし」の向上等サービス改善に向けた活用へとつなげていきます。	○ 観光レクリエーション入込客数調査では、県内29市町から報告のあった各施設の入込客数をまとめ、「平成26年観光レクリエーション入込客数推計書」を発行しました。また、ゴールデンウィーク・夏休み・お正月には、観光客の動向を把握するため、県内の主要施設の入込客数調査を行いました。 【雇用経済部観光局観光政策課】 ○ 「観光客実態調査」では、四半期ごとに県内の15施設で行った調査の結果を、三重県全体・地域別に集計し、報告書にまとめました。 【雇用経済部観光局観光政策課】
3 観光産業 の高付加 価値化	(1) 観光産業 の育成・振 興	3(1)④ 中小企業 の資金調 達に係る 支援	経済環境等の変化に応じて、観光事業者を含む中小企業の資金調達の円滑化の支援を行うことにより、経営基盤の強化を図ります。	○ 三重県中小企業融資制度において、小規模事業資金により観光事業者を含めた小規模事業者を対象とする融資制度を実施していますが、平成25年度から「みえ産業振興戦略関連資金」を新設し、県の観光人材育成カリキュラムを受講し修了証を受けた旅館・ホテル業を営む中小企業が行う施設のバリアフリー化を対象にした設備資金を新たに融資対象としています。 【雇用経済部中小企業・サービス産業振興課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
3 観光産業 の高付加 価値化	(2) 観光産業 の複合化 による新 たなツー リズムへ の対応	3(2)① グリー ン・ツー リズムの推 進	三重県の農山漁 村の魅力を大都 市圏等に向け広 く情報発信する とともに、自然、 文化、農林水産物 等、農山漁村地域 の豊かな地域資 源を生かしたグ リーン・ツーリ ズムの推進により、 都市と農山漁村 の交流・共生を促 進します。	<p>○ 農山漁村の豊かな地域資源を生かした「いなかビジネス」の創出と質的向上に向け、交流アドバイザー(講師)を8回派遣しました。 【農林水産部農業基盤整備課】</p> <p>○ 農山漁村の資源と都市のニーズを結んで農村起業を促進するコーディネーターを養成する講座(6回連続)を開催しました。 【農林水産部農業基盤整備課】</p> <p>○ いなかビジネスの取組は170件となり、情報交換や研修の場として第2回いなかビジネス実践者大会(平成28年2月9日)を開催しました。 【農林水産部農業基盤整備課】</p> <p>○ 県内外のイベント等で、冊子「いなか旅のススメ2014」の配布によるPRやHPを通じた三重の農山漁村の魅力を情報発信し、農山漁村(里)を応援してくれる三重の里ファン倶楽部会員数は7,304名(平成28年3月末現在)となりました。 【農林水産部農業基盤整備課】</p> <p>○ 都市住民等にグリーン・ツーリズムや農山漁村の魅力を情報発信するため、「いなか旅のススメ2016」を作成しました。 【農林水産部農業基盤整備課】</p> <p>○ 2月に「三重まるごと自然体験構想」を策定するとともに、自然体験活動団体や様々な企業・団体、市町などで構成する「三重まるごと自然体験ネットワーク」を設置することとし、会員の募集を開始しました。また、新たな自然体験プログラムを開発・実践する活動団体等(8団体)への支援を実施するとともに、実践研修による人材育成(14名)を行いました。情報発信としては、モンベルグループとの連携を進め、会員向けのイベント等において三重県の自然体験について発信を行うとともに、アウトドア雑誌への記事広告等を実施しました。 【農林水産部農林水産総務課】</p> <p>○ 4月に受入側担当者による第1回意見交換会(情報交換会)を開催し、1月に学習会を兼ねた第2回意見交換会を開催することで、各受入地域協議会相互の取組レベルの向上を図りました。また、子どもたちへ安全安心の体験活動を提供するために、6月に受入地域協議会等を対象に安全管理講習会を開催し、24名の参加がありました。 【地域連携部地域支援課】</p> <p>○ 平成27年度は農林漁業体験民宿の制度改正が予定(平成28年4月1日施行)されていたことから、「農林漁業体験民宿開業セミナー」は開催しませんでした。 【地域連携部地域支援課】</p> <p>○ 子ども・学生のグループを受け入れた際に、農林漁業体験などを指導する体験指導者の養成講座を、3泊4日の日程で飯高町波瀬会場に開催し、15名の参加があり、全員がカリキュラムを終了後、指導者として認定されました。 【地域連携部地域支援課】</p> <p>○ 子ども・学生のグループ受け入れを行う11地域のうち、新たに取り組む5地域に対し、モデル的に体制整備に要する経費を支援し、県内での受入体制の整備を図りました。 【地域連携部地域支援課】</p> <p>○ 受入地域協議会を集約したPR冊子「いなか体験学習のススメ2015」を活用し、小中学校校長会や開催するイベントにおいてPRを行いました。 【地域連携部地域支援課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
3 観光産業 の高付加 価値化	(2) 観光産業 の複合化 による新 たなツー リズムへ の対応	3(2)② エコツー リズムの 普及促進	環境と観光をつ なげるエコツー リズムの普及促 進を図るため、さ まざまな主体と の連携・協力によ り、同ツーリズム に取り組む団体が 活動しやすい環 境整備を行う等、 持続可能な観光 地づくりを進め ます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生物多様性の保全を目的として、自主的な活動を行う「里地里山保全活動計画」の認定団体のうち、要望のあった 10 団体の活動に対して支援しました。 【農林水産部みどり共生推進課】</li> <li>○ 自然観察会等の行事案内を、HP で情報提供するとともに、年間 160 回の行事により自然とふれあい親しむ機会を提供しました。 【農林水産部みどり共生推進課】</li> <li>○ ボランティアが構成員となっている「モリメイト」の活用により参加型の森林公園の維持管理を行いました。 【農林水産部みどり共生推進課】</li> <li>○ 伊勢志摩国立公園の魅力を PR する英文マップ等を作成するとともに、伊勢志摩地域の資源を活用した取組を進める若者を応援するイベントの開催などの支援や、首都圏でのイベントへの出展を通じた情報発信に取り組みました。 【農林水産部みどり共生推進課】</li> </ul>
3 観光産業 の高付加 価値化	(2) 観光産業 の複合化 による新 たなツー リズムへ の対応	3(2)③ 産業観光 の促進	最先端ものづく り産業、地域の伝 統産業・地場産業 等の生産現場の 見学や生産体験 等、産業観光の促 進を通じて、地域 における新たな 観光資源の創出 を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内外でのイベント等における伊勢型紙等の体験実施やパネル展を開催することにより、伝統産業・地場産業の価値や魅力をより深く理解していただくなど、産業観光の促進を図りました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</li> <li>○ 引き続き、愛知県、岐阜県と共催で「産業観光スタンプラリー」を実施し、県内 44 施設に協力いただき 9,610 名の参加を得ました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</li> </ul>
3 観光産業 の高付加 価値化	(2) 観光産業 の複合化 による新 たなツー リズムへ の対応	3(2)④ ヘルスツ ーリズム の促進	病気やけがの治 療・予防のほか、 温泉浴による療 養、森林浴による リラックス効果、 薬膳等の食による 健康維持、ウォ ーキング等の運 動による体力増 強等、心と体の健 康増進・回復を目 的としたヘルス ツーリズムの取 組を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みえライフイノベーション推進センター (MieLIP)」の地域拠点である、MieLIP 尾鷲が主催した、健康増進プログラムツアーを実施する際にアドバイザーとして活動するための「尾鷲セラピスト養成講座」の開催を支援し、新たに 15 名がセラピストとして登録されました。 【健康福祉部ライフイノベーション課】</li> <li>○ MieLIP 鳥羽が、平成 26 年度に神島で実施したウォーキングによるリラックス効果の検証試験を受けて商品化した「ウェルネスの旅」について、平成 27 年 5 月に開催したツアーに関する情報周知を行いました。 【健康福祉部ライフイノベーション課】</li> </ul>
3 観光産業 の高付加 価値化	(2) 観光産業 の複合化 による新 たなツー リズムへ の対応	3(2)⑤ 医療観光 の促進	先進的な医療サ ービスの提供と、 本県の豊富な観 光資源、地域の食 材等を組み合わ せた医療観光の 受け入れに取り 組む事業者や医 療機関等との連 携を通じて、本県 の観光魅力を P R します。	

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
3 観光産業 の高付加 価値化	(2) 観光産業 の複合化 による新 たなツー リズムへ の対応	3(2)⑥ スポーツ ツーリス ムの促進	旅先で観光ととも にスポーツを 楽しむ、あるいは スポーツ大会へ の参加とともに 旅を楽しむなど、 スポーツを通じ た新たな魅力の 創出、スポーツを 核とした交流機 会の増大を図り ます。	<p>○ 市町のスポーツイベントの誘致、開催に向けての組織づくりや運営の支援のため、日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）の協力を得て、大台町、多気町にアドバイザーを派遣しました。 また、スポーツを通じた地域の活性化を推進するため、国の交付金を活用した「スポーツ誘客推進事業補助金」により市町等のスポーツイベントの誘致等を支援（3件）しました。 【地域連携部スポーツ推進局スポーツ推進課】</p> <p>○ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ地誘致について、知事の欧州ミッションや伊勢志摩サミットに関する機会を通じて、諸外国へのPRや情報収集などの誘致活動に取り組みました。 【地域連携部スポーツ推進局スポーツ推進課】</p> <p>○ 日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）を活用した情報収集を行いました。 【雇用経済部観光局観光政策課】</p> <p>○ 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会に参画し、観戦者の宿泊サポートを行うなど、モータースポーツによる魅力創出を推進しました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 県営サンアリーナにおいて、トレイルランニングレースの実施や、近隣の旅館街と提携した合宿パックの提案を行うなど、スポーツを目的とした旅行者の誘致に取り組みました。 【雇用経済部観光局観光政策課】</p>



大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
3 観光産業 の高付加 価値化	(2) 観光産業 の複合化 による新 たなツー リズムへ の対応	バリアフ リー観光 の推進		<p>○ 障がい者、高齢者など移動に困難を伴う方が旅行時に必要な情報を広く発信するとともに、受入側もバリアフリー観光に関する情報提供や相談に対応しやすくすることで、地域におけるコンシェルジュ機能を充実し、「日本一のバリアフリー観光県」をめざしました。</p> <p>1 バリアフリーコンシェルジュ研修の開催 県内観光案内窓口等のコンシェルジュ機能の向上による案内機能の強化を図るため、県内3箇所で開催しました。 ・伊勢二見会場（平成27年6月30日 参加者55名） ・四日市会場（平成27年11月20日 参加者35名） ・津会場（平成28年2月2日 参加者54名）</p> <p>2 三重県バリアフリー観光推進大会の開催 「日本一のバリアフリー観光で、三重の未来をつくる」をテーマに、県内観光事業者、観光地行政関係者、観光によるまちづくりに関心のある方を対象に、講演、トークセッション等を実施することで三重県のバリアフリー観光の推進を図りました。 ・三重県総合文化センター内男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール（平成27年9月4日 参加者330名）</p> <p>3 県外での三重のバリアフリー観光のPR 県外の観光展や福祉展等で三重県のバリアフリー観光の情報発信を行いました。 ・第5回バリアフリー観光推進全国フォーラム沖縄大会（平成27年6月19日） ・ヨコハマ・ヒューマン&amp;テクノランド2015（平成27年7月24日～25日） ・三重県観光交流会（ロイヤルパークホテル 平成28年1月26日）</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光政策課】</p> <p>○ 観光施設へのおもいやり駐車場の設置促進などを、事業者及びUD団体等と連携して実施することにより、三重県のバリアフリー観光を推進しました。</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部地域福祉課】</p>
3 観光産業 の高付加 価値化	(3) 観光産業 の高度化 につながる 県産品の 魅力づく り	3(3)① 三重県営 業本部で の三重ブ ランドの 魅力PR	「三重県営業本部」において、食を目的とする観光につながるよう、「三重ブランド」などの県産品の魅力をPRします。	<p>○ 「三重ブランド」の各種PRツールを作成して、三重テラスにおける情報発信と連携したPRや百五DC等民間事業者とのタイアップなど様々な場面を活用してPRを行いました。</p> <p style="text-align: right;">【農林水産部フードイノベーション課】</p> <p>○ 選定した事業者に対し、ブランド力向上の為の支援を実施しました。</p> <p style="text-align: right;">【農林水産部フードイノベーション課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
3 観光産業 の高付加 価値化	(3) 観光産業 の高度化 につながる 県産品の 魅力づく り	3(3)② みえフー ドイノー ーション を通じた 商品開発 及び県産 品認知度 向上	県産品が広く認 知され、競争力を 強化できるよう、 産学官ネットワ ーク等により、食 に関する新たな 商品やサービス を生み出すしく みである「みえフ ードイノーベーシ ョン」の創設をと おして、健康など 多様なニーズに 対応する商品開 発や、「三重ブラ ンド」をはじめと する県産品の認 知度の向上に取 り組めます。	○ 平成 24 年 5 月に発足したみえフードイノベーション・ネットワ ークの会員数は 552 者となりました。(平成 28 年 3 月末現在) 【農林水産部フードイノベーション課】  ○ みえフードイノベーションプロジェクトは、4 プロジェクトを立 ち上げ、これまでに合計で 47 プロジェクト、56 の新商品等が生み 出されました。(平成 28 年 3 月末現在) そのうち、みえパンなどの商品ポスター等に観光キャンペーンロゴ マークを使用し、観光 PR を行いました。 【農林水産部フードイノベーション課】
3 観光産業 の高付加 価値化	(3) 観光産業 の高度化 につながる 県産品の 魅力づく り	3(3)③ みえ地物 一番、地産 地消情報 の提供	県内で生産され る農林水産物に ついて、「みえ地 物一番」に登録す る食品産業事業 者との連携によ り、旬、産地、レ シピ等の地産地 消にかかる情報 を広く提供し、本 県ならではの食 の魅力づくりを 支援します。	○ イオンモール東員において 4 月に「みえのお茶漬け」、10 月に「鯛 ときのこ」などをテーマとしたクッキングショーを行うなど、県産 品の PR を行いました。 【農林水産部フードイノベーション課】  ○ 民間企業との「みえ地物一番」キャンペーンの推進などを通じ、 三重ブランドをはじめ 6 次産業化等によって開発された県産品につ いて、認知度の向上とともにホームページ等を通じた情報発信を行 いました。 ・企業との連携による食育等の PR 回数：10 回 【農林水産部フードイノベーション課】
3 観光産業 の高付加 価値化	(3) 観光産業 の高度化 につながる 県産品の 魅力づく り	3(3)④ 「みえ地 域コミュニ ティ応 援ファンド」、 「みえ農商 工連携推 進ファンド」	地域の資源を活 用した新たなビ ジネスの創出に 向け、「みえ地域 コミュニティ応 援ファンド」、「 みえ農商工連 携推進ファンド」 等を活用して新 商品、新サービ スの開発や販路 開拓を促進し ます。	《3(1)①再掲》 ○ 「みえ地域コミュニティ応援ファンド」については、35 件を採択 し、「みえ農商工連携推進ファンド」については 5 件を採択し、そ の取組を支援しました。 【雇用経済部中小企業・サービス産業振興課、地域資源活用課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
3 観光産業 の高付加 価値化	(3) 観光産業 の高度化 につな がる県産 品の魅 力づく り	3(3)⑤ 伝統産業 や地場産 業の活 性化	地域の風土や文化と密接に結びついている伝統産業や地場産業の活性化を図るため、知恵を生かした製品や技術の高度化、高付加価値化によるブランド化を進めます。	<p>○ 県内事業者の付加価値の高い商品づくりを行うために、デザイナー等を活用した新商品の開発及び商品のブラッシュアップなどを行うとともに（4件）、改良から流通まで一貫したデザインの戦略的な活用を推進し、大都市圏及び海外で通用する付加価値の高い商品の流通と販売戦略のブランディング（2件）を行い販路開拓の支援をしました。 【雇用経済部地域資源活用課】</p> <p>○ 伊賀くみひも、伊勢型紙、擬革紙、伊勢木綿、松阪木綿、真珠等の県内事業者と県内外の様々な事業者との16件のマッチングを行い、新商品開発、販路開拓等の支援を行うとともに、デザイナー等との連携を通じた新商品開発や販路開拓の支援を継続的に行うため、国等の各種支援制度の活用を促し、23件の支援を行いました。 【雇用経済部地域資源活用課】</p> <p>○ 伝統産業・地場産業に従事する人材や担い手育成など後継者の確保と技術の伝承・向上への取組を支援するため、補助金を2社に交付し、事業者の担い手育成等につなげました。 【雇用経済部地域資源活用課】</p>
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(1) 観光地づくりを担う人材の育成（「おもてなし」の向上）	4(1)① 「おもてなし」の向上	観光事業者をはじめ、県民の主体的な参画も得ながら、地域全体で「おもてなし」向上に取り組み、観光旅行者の満足度を高め、リピーターの確保につなげていきます。	<p>《1(1)①再掲》</p> <p>○ 「おもてなし」の向上、バリアフリー観光や持続的な観光地づくりを行っていただくために、三重県観光キャンペーンに係わるみえ旅案内所の皆様をはじめ、観光事業者、関係団体等を対象にセミナーを開催いたしました。みえ旅案内所の皆様をはじめ、観光事業者、観光関係団体、地域づくり団体や県・市町等の職員275名の参加をいただきました。</p> <p>第1回：平成27年6月15日（月） プラザ洞津 「地方創生にむけての観光地経営を考える」</p> <p>第2回：平成27年11月2日（月） 三重県教育文化会館 「地域に求められるDMOの構築と観光地マーケティングの導入研修」</p> <p>第3回：平成27年11月20日（金） 四日市ドーム 「バリアフリー観光セミナー（バリアフリー観光で集客力アップ）」</p> <p>第4回：平成28年2月2日（火） 三重県総合文化センター 「三重県バリアフリー観光コンシェルジュ研修」</p> <p>第5回：平成28年3月16日（水） 三重県総合文化センター 「“してあげたい事”より“されたい事”をしよう！」</p> <p>【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(1) 観光地づくりを担う人材の育成(「おもてなし」の向上)	4(1)② 観光キーパーソンの育成	観光事業者等を対象とした学びの場を設け、経営者や有識者を招いた実践的な研修やフィールドワーク等を通じ、地域の観光振興の核となる観光キーパーソンを育成します。	<p>《1(1)①再掲》</p> <p>○ 「おもてなし」の向上、バリアフリー観光や持続的な観光地域づくりを行っていただくために、三重県観光キャンペーンに係わるみえ旅案内所の皆様をはじめ、観光事業者、関係団体等を対象にセミナーを開催いたしました。みえ旅案内所の皆様をはじめ、観光事業者、観光関係団体、地域づくり団体や県・市町等の職員 275 名の参加をいただきました。</p> <p>第1回：平成 27 年 6 月 15 日(月) プラザ洞津 「地方創生にむけての観光地経営を考える」</p> <p>第2回：平成 27 年 11 月 2 日(月) 三重県教育文化会館 「地域に求められるDMOの構築と観光地マーケティングの導入研修」</p> <p>第3回：平成 27 年 11 月 20 日(金) 四日市ドーム 「バリアフリー観光セミナー(バリアフリー観光で集客力アップ)」</p> <p>第4回：平成 28 年 2 月 2 日(火) 三重県総合文化センター 「三重県バリアフリー観光コンシェルジュ研修」</p> <p>第5回：平成 28 年 3 月 16 日(水) 三重県総合文化センター 「“してあげたい事”より“されたい事”をしよう！」</p> <p>【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(1) 観光地づくりを担う人材の育成(「おもてなし」の向上)	4(1)③ おもてなしの心あふれる観光ボランティアガイドの育成	県内のボランティアガイド団体で構成される「おもてなし三重観光ボランティアガイド協議会」の活動を支援し、おもてなしの心あふれるガイドの育成、技術向上、ネットワーク化を促進します。	<p>○ 三重県観光連盟を通じて、ボランティアガイド間の連携、組織強化を図るため、ボランティアガイド連絡協議会の支援を実施するとともに、研修会、地域交流会等を開催しました。</p> <p>【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(1) 観光地づくりを担う人材の育成(「おもてなし」の向上)	4(1)④ 講演会等を通じた観光人材の育成、男女共同参画	市町、県民、観光事業者、観光関係団体等、観光振興に取り組むさまざまな主体を対象とした、講演会、研修会、シンポジウム等の開催を通じて、知識の習得、専門性の向上等に取り組みます。また、その際には、男女共同参画等の視点も踏まえ、性別にかかわらず、地域で活躍することのできる観光人材の育成を図っていきます。	<p>《1(1)①再掲》</p> <p>○ 「おもてなし」の向上、バリアフリー観光や持続的な観光地域づくりを行っていただくために、三重県観光キャンペーンに係わるみえ旅案内所の皆様をはじめ、観光事業者、関係団体等を対象にセミナーを開催いたしました。みえ旅案内所の皆様をはじめ、観光事業者、観光関係団体、地域づくり団体や県・市町等の職員 275 名の参加をいただきました。</p> <p>第1回：平成 27 年 6 月 15 日(月) プラザ洞津 「地方創生にむけての観光地経営を考える」</p> <p>第2回：平成 27 年 11 月 2 日(月) 三重県教育文化会館 「地域に求められるDMOの構築と観光地マーケティングの導入研修」</p> <p>第3回：平成 27 年 11 月 20 日(金) 四日市ドーム 「バリアフリー観光セミナー(バリアフリー観光で集客力アップ)」</p> <p>第4回：平成 28 年 2 月 2 日(火) 三重県総合文化センター 「三重県バリアフリー観光コンシェルジュ研修」</p> <p>第5回：平成 28 年 3 月 16 日(水) 三重県総合文化センター 「“してあげたい事”より“されたい事”をしよう！」</p> <p>【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(1) 観光地づくりを担う人材の育成(「おもてなし」の向上)	4(1)⑤ 美し国おこし・三重	「美し国おこし・三重」の取組により、地域づくりのキーパーソンとなる人材の育成を図るほか、専門家派遣や交流会の開催等を通じて、主体的に地域をよりよくしようとする団体である「パートナーグループ」の活動を支援するための環境を整備します。	
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(1) 観光地づくりを担う人材の育成(「おもてなし」の向上)	4(1)⑥ 東紀州地域振興公社(旧「東紀州観光まちづくり公社」)、熊野古道語り部の育成	熊野古道伊勢路の価値や魅力を多くの観光旅行者に伝えるため、「東紀州観光まちづくり公社」が主催する養成講座等を通じて、熊野古道語り部の育成や技術力の向上に取り組みます。	○ 熊野古道伊勢路を守り伝えるために、熊野古道保存会の古道保全活動、企業の社会貢献活動と連携した清掃ウォーク等の開催、人材育成のための熊野古道語り部養成講座やレベルアップ講座、英語語り部勉強会などの活動や、みえ熊野学研究会と連携した熊野文化講座や地域巡回講座の開催などの活動に対し、東紀州地域振興公社を通じて支援しました。 【地域連携部南部地域活性化局東紀州振興課】
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(1) 観光地づくりを担う人材の育成(「おもてなし」の向上)	4(1)⑦ 宮川流域エコミュージアム、宮川流域案内人の育成	宮川流域エコミュージアムにおける宮川流域案内人の育成、資質向上に向けた支援を行います。	○ 「宮川流域案内人」の登録は約 300 名(平成 28 年 3 月末現在)となっており、平成 18 年 4 月に設立された「宮川流域案内人の会」を中心に主体的に活動しています。流域案内人の会による企画・協力事業は、平成 27 年度に 61 件開催され、9,853 名が参加しました。 【地域連携部地域支援課】
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(1) 観光地づくりを担う人材の育成(「おもてなし」の向上)	4(1)⑧ 農林漁業体験等の指導者研修	農林漁業体験等さまざまな体験活動の指導者研修等の開催により、県内各地のグリーン・ツーリズムの取組を支援します。	《3(2)①再掲》 ○ 農山漁村の豊かな地域資源を生かした「いなかビジネス」の創出と質的向上に向け、交流アドバイザー(講師)を 8 回派遣しました。 【農林水産部農業基盤整備課】 《3(2)①再掲》 ○ 農山漁村の資源と都市のニーズを結んで農村企業を促進するコーディネーターを養成する講座(6 回連続)を開催しました。 【農林水産部農業基盤整備課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(2) 県民の観光行動の促進	4(2)① 観光パンフレットの掲出	県内の公共施設、駅、大型商業施設、コンビニエンスストア等、多くの県民が利用する施設において、季刊紙「観光三重」等観光パンフレットの掲出を通じて、旬の観光情報を提供します。	○ (公社) 三重県観光連盟により、本県の旬の情報を提供するために、季刊紙「観光三重」(年 4 回、95 万部) 等を発行し、県内の公共施設、駅、大型商業施設、コンビニエンスストア等、多くの県民が利用する施設で掲出しました。また、県内外のサービスエリアや観光物産展等で配布しました。  【雇用経済部観光局観光誘客課】
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(2) 県民の観光行動の促進	4(2)② 郷土教育の推進	「三重の文化(郷土の文化編)」等の教材を活用しながら、郷土を愛する心や地域に貢献する意欲を育む郷土教育を推進します。	○ 教材「三重の文化」を活用した中学校の割合は 100%であり(平成 27 年度)、三重県内の全中学校において、活用されました。 【教育委員会事務局小中学校教育課】  ○ 中学生が郷土への愛着等を育み、積極的に自らの考えや意見を発信することをねらいとし、教材「三重の文化」等を参考に「郷土三重を英語で発信! ~ワン・ペーパー・コンテスト~」を実施しました。  【教育委員会事務局小中学校教育課】  ○ 郷土教育の推進を図るため、ふるさと通信「知ろう 語ろう 伊賀地域」、「知ろう 語ろう 伊勢志摩地域」を作成し、県内の国・公・私立の小学校(5・6 年)、中学校、高等学校、特別支援学校(小学部 5 年生以上)の全児童生徒(約 14 万人)に配付しました。 【教育委員会事務局小中学校教育課】  ○ 郷土学習のさらなる充実を目的に、教材「三重の文化」の題材をもとにした「ふるさと三重かるた」(平成 27 年度配付分)を印刷・配付しました。 三重県総合博物館(MieMu)と連携し、幼稚園、認定こども園、保育所の幼児と小学生を対象として「ふるさと三重かるた」大会を開催しました。  【教育委員会事務局小中学校教育課】  ○ 三重への理解と愛着を深めていただくことができるよう、「SUZUKA 夢と挑戦のステージ」、「明治の日本と三重」といった企画展をはじめ、「写真展 三重を彩る花々」、「三重のまちかど博物館〜技〜」、「すばらしい三重の文化財」、「よみがえる昭和の津のまち」、「伊勢型紙 JAPAN BLUE」といった交流展示に取り組みました。  【環境生活部文化振興課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(2) 県民の観光行動の促進	4(2)③ 歴史的・文化的資産の活用による人材育成・地域づくり	県民が、地域の文化財の価値に気づき、大切に守り伝え、積極的に活用できる環境づくりを進めるとともに、歴史的・文化的資産を生かした人づくりや地域づくりの取組を促進します。	<p>○ 地域と協働しながら、地域に残る歴史的文化的資産を活用した街道ウォーク、まちかど博物館合同展示会等（14 件）を実施しました。 【環境生活部文化振興課】</p> <p>○ 「海女の一生」をテーマに、鳥羽・志摩の海女漁について映像記録を作成しました（ダイジェスト、普及編、記録編）。また、海女漁の魅力を広く発信するため、パネル展示にあわせて、映像記録を公開しました。 【教育委員会事務局社会教育・文化財保護課】</p> <p>○ 海女漁の魅力について県内及び国内へ情報発信を行うため、展示会を県内 3 か所（県立図書館、松阪市役所、伊賀市ハイトピア）、県外 5 か所（石川県庁、福井県庁、三重テラス等）で開催するとともに、平成 28 年 2 月 11 日には海女トークを開催し 65 名の参加を得ました。 【教育委員会事務局社会教育・文化財保護課】</p> <p>○ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の価値を伝えるため、平成 28 年 2 月 14 日に東紀州振興課と共催で、熊野古道センターにおいて世界遺産セミナーを実施し、71 名の参加を得ました。 【教育委員会事務局社会教育・文化財保護課】</p> <p>○ 地域の貴重な文化財を見直し、文化財の活用によるまちづくりを推進するため、活用・防災事業と保存事業をあわせた 38 事業に補助金を交付しました。 【教育委員会事務局社会教育・文化財保護課】</p> <p>○ 文化財を活用した積極的な取組を紹介した「実績報告集」を作成しました。 【教育委員会事務局社会教育・文化財保護課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成27年度観光施策の取組状況
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(3) 地域の持続的な観光地づくりへの支援	4(3)① 観光旅行者の周遊性・滞在性の向上	観光事業者、観光関係団体等との連携により、観光旅行者の周遊性・滞在性を高める取組を進めます。	<p>《1(1)①再掲》</p> <p>○ 官民が連携して「みえ旅パスポート」の発給促進、「みえ旅案内所」及び「みえ旅おもてなし施設」の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みえ旅パスポート発給数 619,251件 (H28.3末)</li> <li>・みえ旅案内所の設置 68施設 ⇒ 101施設</li> <li>・みえ旅おもてなし施設の募集 640施設 ⇒ 897施設</li> </ul> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 5つの地域部会に県内全市町の参画を得て、東海道踏破スタンプラリーの実施、東紀州地域観光PR動画の作成など、県内各地の魅力発見や情報発信、地域連携事業の実施など、地域と一体となった取組を進めました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 伊勢志摩サミット開催、斎宮の日本遺産認定など、県内各地の旬の情報やキャンペーン企画を、オフィシャルガイドブックやエリアパンフレットを活用し発信しました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 首都圏等大都市圏においては、三重テラス、関西事務所、名古屋桜通りカフェを活用しターゲットを絞った情報発信や、メディア等を対象にした企画提案、情報発信を行うとともに、日本最大級の旅博「ツーリズムEXPOジャパン2015」、「女子旅EXPO2015」に出展し、三重の旬の魅力を発信しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア等掲載広告宣伝効果 約6億3千万円</li> </ul> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 民間事業者等との連携では、149社(H28.3末)を超える企業等に協力いただき、商品開発、ロゴマークの活用、PRなど、官民が一体となった三重県の認知度向上に取り組みました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 熊野古道世界遺産登録10周年に併せて、定額料金で高速道路が乗り放題となる「実はそれ、ぜんぶ三重なんです!」ドライブプランを、中日本高速道路株式会社と連携し企画実施しました。(実施期間:平成27年7月1日~11月30日)</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>《1(2)④再掲》</p> <p>○ 三重県南部地域活性化基金を活用し、玉城町、度会町、南伊勢町が連携して行う取組に対して支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サニーロード沿線マップをリニューアルし、沿道の店舗で使えるクーポン掲載とスタンプラリーを行うとともに、高速SA(土山、御在所、安濃)等で配布しました。</li> <li>・3町合同の産直市「サニー市」を平成27年11月から計3回開催するとともに、ノベルティグッズ(3町ご当地キャラクリアファイル)を作成し、PRイベント等で配布しました。</li> <li>・サニーロードの魅力をPRするため、WEBサイトを開設しました。</li> <li>・新たな名物グルメ開発のため、特産品を使ったレシピコンテストを実施しました。</li> <li>・地域資源を生かした体験プログラムを盛り込んだモニターツアーを実施しました。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【地域連携部南部地域活性化局南部地域活性化推進課】</p>



大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(3) 地域の持続的な観光地づくりへの支援	4(3)② 地域における観光の魅力づくりへの支援	「鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会」等、地域が主体となった取組への参画を通じて、地域における観光の魅力づくりを支援します。	<p>○ 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会のおもてなし部会に参画し、県内の宿泊施設に対しF1サポート宿泊施設への協力を依頼し、8施設に参加していただき延べ879名の受入を行いました。グランプリ当日は、県内の観光PRを行うとともに、F1専用スタンプによるみえ旅パスポートの臨時発給を行い、3日間で750冊を発給いたしました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 県内外に対して、鈴鹿F1日本グランプリの開催を、ラジオ、テレビ、新聞等を活用し発信するとともに、中部国際空港セントレア館内で大型ポスターを掲出することで国内外の方々への開催周知を図りました。</p> <p style="text-align: right;">【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(3) 地域の伝統的な観光地づくりへの支援	4(3)③ 世界遺産熊野古道の保存、活用に向けた関係機関との連携	平成 26 (2014) 年 7 月の熊野古道世界遺産登録 10 周年も視野に入れ、奈良県、和歌山県及び関係市町等との連携により、その保存とさらなる活用に向けた取組を進めます。	<p>《1 (2) ③再掲》</p> <p>○ 「吉野・高野・熊野の国」における集客力の向上を目的とした情報発信や、30 代、40 代の女性を主なターゲットとしたメディアミックス（紙媒体、インターネット、SNS）による誘客プロモーションを実施しました。 【地域連携部南部地域活性化局東紀州振興課】</p> <p>○ 熊野古道伊勢路を踏破する意欲を高めるために、伊勢路周遊ラリーを開催し、伊勢路の各地でスタンプを集める楽しさや観光情報などをあわせて提供することで、来訪者の伊勢路周遊意識を高め、来訪者の増加と古道への理解の促進を図りました。 【地域連携部南部地域活性化局東紀州振興課】</p> <p>○ 熊野古道サポーターズクラブの会員に対して、古道の情報・魅力を発信し、実際に古道を体感いただくことにより、世界遺産を守り伝える取組にも関心を深めていただくとともに、保存会と連携した保全体験や語り部養成講座に参加いただくことにより、これらの活動への理解と参画を促しました。 【地域連携部南部地域活性化局東紀州振興課】</p> <p>○ 三重県南部地域活性化基金を活用し、東紀州地域の市町が連携して行う取組に対し支援しました。 ・熊野古道伊勢路への自家用車利用の来訪者を対象とした送迎プランの実施や、東紀州地域の食に関する、ガイドブックの作成等を行うとともに、エージェントやマスコミ、雑誌社等への営業活動を行い、東紀州地域の魅力ある資源をきめ細かく情報発信することにより、東紀州地域全体の魅力の発信力を高め、市町への一層の誘客を促進しました。 【地域連携部南部地域活性化局南部地域活性化推進課、東紀州振興課】</p> <p>○ 三重県南部地域活性化基金を活用し、伊勢市から大紀町までの 5 市町が連携して行う取組に対し支援しました。 ・5 市町における熊野古道伊勢路関連スポット等をめぐる情報発信ツアーを実施するとともに、雑誌等を活用した魅力発信を行いました。 ・市町ごとに、イラストマップの作成や熊野古道伊勢路に関連するツアーの開催、案内看板の設置等を行いました。 【地域連携部南部地域活性化局南部地域活性化推進課】</p>
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(3) 地域の伝統的な観光地づくりへの支援	4(3)④ 海女や忍者等を活用した三重県観光モデルの構築	日本においても希少で独自性を持ち、本県が世界に誇りをもって情報発信することができる、海女や忍者等の観光資源を活用して、三重県観光の新たなモデル構築に向けた取組を進めます。	<p>《2 (1) ②再掲》</p> <p>○ 「伊賀流忍者観光推進協議会」において、ホームページ上での情報発信やロゴマークの活用など、国内外への伊賀流忍者の情報発信に取り組みました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 「海女振興協議会」において、海女サミット 2015 や日韓国交正常化 50 周年記念事業に参画するなど、国内外への海女文化の情報発信や文化交流事業を実施し、海女文化の振興・継承を図りました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p> <p>○ 平成 25 年 4 月から 3 年間、県民や市町、企業等と一体となり展開している「三重県観光キャンペーン」とも連携し、忍者・海女といった世界に誇る観光資源を積極的に活用した観光振興に取り組みました。 【雇用経済部観光局観光誘客課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(3) 地域の持続的な観光地づくりへの支援	4(3)⑤ 「美し国おこし・三重」を通じた地域づくり活動への支援	「美し国おこし・三重」の取組等を通じて、地域が主体的に取り組む地域づくりの活動を支援し、地域の魅力や価値を高めます。	
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(3) 地域の持続的な観光地づくりへの支援	4(3)⑥ 環境に配慮したクリーンな観光地づくり	県内の主要な観光地で、地域や企業などのさまざまな主体が共に取り組む「電気自動車(EV)等で観光できる環境づくり」と「EV等を地域で使う環境づくり」を通じて、「環境に配慮したクリーンな観光地」の見える化を進めます。	○ 低炭素なまちづくりを進めるため、伊勢市における電気自動車(EV)等を活用した低炭素社会モデル事業において、協議会が策定した行動計画に基づき、充電施設や電気自動車(EV)の普及を図るとともに、電気バスや電気自動車で回るスタンプラリー企画(エコスタンプラリー)を実施しました。 カーシェアリングの取組については、協議会の参画者によるEV(コムス)のレンタルがスタートしました。また、充電インフラの整備として、県営サンアリーナに電気自動車用充電施設を設置しました。充電施設の設置個所は伊勢市内で25か所、県内では270か所余りとなりました。  【環境生活部地球温暖化対策課】
4 おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり	(3) 地域の持続的な観光地づくりへの支援	4(3)⑦ 市町や地域の広域団体による観光振興計画策定	市町や地域の広域団体が、当該地域の観光振興の指針となる計画(観光振興計画等)を策定し、地域のコーディネーターとなって戦略的に観光振興を進めることができるよう、必要な情報、ノウハウの提供等による支援を行います。	○ 鈴鹿市の観光振興方針策定にかかる懇話会に参画し、鈴鹿市観光振興方針の策定に向けて助言等を行いました。  【雇用経済部観光局観光誘客課】
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(1) 観光地の景観形成・快適な交流空間づくり	5(1)① 景観に配慮したまちづくりの促進	市町や県民等による主体的な景観づくりを進めるため、景観づくりに関する情報提供や知識の普及、専門家派遣等を行うとともに、「三重県景観計画」に基づく届出制度の運用等を通じて、景観に配慮した建築物の建築等の促進を図ります。	○ 県民や事業者、市町とともに、地域の個性を生かした魅力ある景観づくりを県内全域で展開していくため、景観アドバイザーの派遣など、市町の景観づくりの取組を支援しました。  【県土整備部景観まちづくり課】  ○ 「熊野川流域景観計画」を適正に運用するため、熊野川流域の文化的景観を共有する和歌山県等関係自治体と情報交換を行いました。また、紀宝町、熊野市で計画に基づく届出の事前相談会を定期的に開催しました。  【県土整備部景観まちづくり課】  ○ 東紀州地域をモデルとして、眺望景観の保全に向け、「誇れる視点場」の現地調査を行い、関係部署と認識を共有しました。  【県土整備部景観まちづくり課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(1) 観光地の景観形成・快適な交流空間づくり	5(1)② 街路整備や電線類の地中化	都市環境を保全し、その機能を高めるため、街路の整備や電線類の地中化に向けた取組を進めます。	○ 電線類の地中化により歩行空間のバリアフリー化を進め、安全で魅力ある道づくりを推進するため、駅周辺等の都市計画道路において、電線共同溝の整備を実施しました。 【県土整備部都市政策課】
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(1) 観光地の景観形成・快適な交流空間づくり	5(1)③ 日本風景街道『伊勢熊野みち』推進協議会	「日本風景街道『伊勢熊野みち』推進協議会」が策定した活動計画をもとに、熊野古道を軸とする東紀州を中心とした地域において、関係市町や団体が連携を図りながら、地域の資源を活用したまちづくり、快適で美しい観光・交流空間づくりを進めます。	○ 世界遺産・熊野古道を活用した地域づくり、景観づくりを推進するため、日本風景街道『伊勢熊野みち』推進協議会の開催により、協議会の構成員である関係団体及び市町間の交流を深めました。 【県土整備部景観まちづくり課】
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(1) 観光地の景観形成・快適な交流空間づくり	5(1)④ 潤いのある水辺空間の創出	河川が本来有している多様性に富んだ自然環境と河川景観を保全・整備するとともに、また、海浜を保全・復元することにより、潤いのある水辺空間の創出を進めます。	○ 木津川において、動植物の生息・生育環境を確保するため、沈床工を設置しました。 【県土整備部河川課】  ○ 井田地区海岸で人工リーフ、宇治山田港海岸等で緩傾斜護岸、磯津地区海岸等で養浜等を実施し、周辺の自然環境や景観に配慮した親水空間の創出を進めました。 【県土整備部港湾・海岸課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(1) 観光地の景観形成・快適な交流空間づくり	5(1)⑤ 自然公園や自然遊歩道等の整備及び維持管理	国立公園、国定公園、県立自然公園において豊かな自然とのふれあいを図るため、公園や自然遊歩道等の施設整備、安全確保のための維持管理を行います。	<p>○ 登茂山園地、青山高原ふるさと公園、藤原岳坂本休憩所公衆トイレ、大杉谷登山センター、鳥羽ビジターセンター、東海自然歩道及び近畿自然歩道について、市町や関係団体に施設の維持管理業務やパトロール業務を委託しました。 【農林水産部みどり共生推進課】</p> <p>○ 老朽化している下記施設の修繕を実施しました。 ・近畿自然歩道御座漁港公衆トイレ（志摩市） ・尾鷲駅前ビジターセンター公衆トイレ（尾鷲市） ・菅島しろんご浜公衆便所（鳥羽市） 【農林水産部みどり共生推進課】</p> <p>○ 老朽化等により損傷した以下の6施設を改修しました。 ・東海自然歩道 1箇所（伊賀市：鈴鹿国定公園内） ・近畿自然歩道 3箇所（鳥羽市、志摩市、南伊勢町：伊勢志摩国立公園内） ・登茂山園地 1箇所（志摩市：伊勢志摩国立公園内） ・鶺鴒園地 1箇所（南伊勢町：伊勢志摩国立公園内） ・大王崎園地 1箇所（志摩市：伊勢志摩国立公園内） ・鳥羽ビジターセンター 1箇所（鳥羽市：伊勢志摩国立公園内） 【農林水産部みどり共生推進課】</p>
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(2) 人にやさしい観光地づくり	5(2)① ユニバーサルデザインに配慮した施設整備	市町や関係機関等との連携・協力のもと、ユニバーサルデザインに配慮された施設整備を進めます。	<p>○ 三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例に基づき公共的施設的设计段階で事前協議を行い、完成した公共的施設に対して適合証を交付しました。 【健康福祉部地域福祉課】</p> <p>○ 「三重おもいやり駐車場利用証制度」に基づく「おもいやり駐車場」の適正利用が図られるよう各種啓発活動を実施しました。その結果、平成 27 年度末には、利用証の交付者数は 36,586 人、「おもいやり駐車場」の登録届出数は 2,028 施設、4,076 区画となりました。 【健康福祉部地域福祉課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(2) 人にやさしい観光地づくり	5(2)② バリアフリー化の促進	各事業者や関係団体等の理解・協力を得ながら、交通機関、観光施設、宿泊施設等におけるバリアフリー化を促進します。	<p>○ 三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例に基づき公共的施設的设计段階で事前協議を行い、完成した公共的施設に対して適合証を交付しました。 【健康福祉部地域福祉課】</p> <p>○ 引き続き、近鉄伊勢若松駅のバリアフリー化に支援しました。また、鉄道事業者、国、地元市と調整を進め、JR松阪駅のバリアフリー化に着手しました。 【健康福祉部地域福祉課】</p> <p>《3(2)再掲》</p> <p>○ 障がい者、高齢者など移動に困難を伴う方が旅行時に必要な情報を広く発信するとともに、受入側もバリアフリー観光に関する情報提供や相談に対応しやすくすることで、地域におけるコンシェルジュ機能を充実し、「日本一のバリアフリー観光県」をめざしました。</p> <p>1 バリアフリーコンシェルジュ研修の開催 県内観光案内窓口等のコンシェルジュ機能の向上による案内機能の強化を図るため、県内3箇所で開催しました。 ・伊勢二見会場(平成27年6月30日 参加者55名) ・四日市会場(平成27年11月20日 参加者35名) ・津会場(平成28年2月2日 参加者54名)</p> <p>2 三重県バリアフリー観光推進大会の開催 「日本一のバリアフリー観光で、三重の未来をつくる」をテーマに、県内観光事業者、観光地行政関係者、観光によるまちづくりに関心のある方を対象に、講演、トークセッション等を実施することで三重県のバリアフリー観光の推進を図りました。 ・三重県総合文化センター内男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール (平成27年9月4日 参加者330名)</p> <p>3 県外での三重のバリアフリー観光のPR 県外の観光展や福祉展等で三重県のバリアフリー観光の情報発信を行いました。 ・第5回バリアフリー観光推進全国フォーラム沖縄大会(平成27年6月19日) ・ヨコハマ・ヒューマン&amp;テクノランド2015(平成27年7月24日～25日) ・三重県観光交流会(ロイヤルパークホテル 平成28年1月26日) 【雇用経済部観光局観光政策課】</p>
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(2) 人にやさしい観光地づくり	5(2)③ 熊野古道を歩く観光旅行者の利便性の向上	熊野古道の沿線地域において、まちなか案内所を設置するとともに、サイン整備を進める等、古道を歩く観光旅行者の利便性の向上を図ります。	<p>○ 熊野古道伊勢路を歩くためのスマートフォン用サイトを構築し、スマホ上で現在位置やルート、方角が認識できるようにするとともに、観光スポットや時刻表などのおもてなし情報を入手できるようにすることにより、熊野古道伊勢路を訪れやすくなるような環境整備を進めました。 【地域連携部南部地域活性化局東紀州振興課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(2) 人にやさしい観光地づくり	5(2)④ 多言語表記等による案内表示	県内の主要な観光地、交通結節点での多言語表記等、案内表示の設置を促進します。 (再掲)	《2(3)②再掲》 ○ 県管理道路の案内標識について、標識令等に基づく英語表示の併用など、分かりやすい表記に取り組みました。 【県土整備部道路管理課】
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(3) 観光旅行の安全・安心の確保	5(3)① 危機管理情報の収集及び伝達体制づくり	地震、津波、集中豪雨等による自然災害の情報やテロ等の有事関連情報の迅速な収集と伝達体制づくりを促進します。	○ 防災情報提供プラットフォーム(①「防災みえ.jp」ホームページ、②「防災みえ.jp」の防災情報メール配信サービス、③情報を収集する「防災情報システム」)により、迅速な情報の収集と伝達を行いました。 【防災対策部防災対策総務課】  ○ 防災に関する情報を「防災みえ.jp」の防災情報メール配信サービスで行っていることのPRを行いました。 【防災対策部防災対策総務課】
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(3) 観光旅行の安全・安心の確保	5(3)② 避難訓練等への支援	地域との連携による避難訓練等を支援し、的確な避難誘導が行える体制づくりを促進します。	○ 住民一人ひとりの津波避難計画である「Myまっぷラン」を中核とした「津波避難に関する三重県モデル」の地域への水平展開について、地域防災総合事務所・地域活性化局と連携して普及に取り組むとともに、「みえ防災人材バンク」を活用し、みえ防災コーディネーターなどによる地域の活動に対する実地支援や、財政支援を行った結果、「Myまっぷラン」を活用した取組が、6市町11地区で行われました。 【防災対策部防災企画・地域支援課】  ○ 男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営や、避難所における障がい者、外国人への配慮について、平成24年度に改定した「三重県避難所運営マニュアル策定指針」及び基本モデルを用いた避難所単位の運営マニュアル策定の取組の水平展開についても同様に、活動に対する実地支援を行った結果、7市町20地区で取組が行われました。 【防災対策部防災企画・地域支援課】  ○ 地域減災対策推進事業(地域減災力強化推進補助金)の観光客避難対策推進事業により、観光客などに避難所や避難場所を知らせるための避難誘導標識等の整備について、市町の取組を支援(9市町)しました。 【防災対策部防災企画・地域支援課】  ○ 観光事業者用防災啓発パンフレットを用いて、三重県旅館ホテル生活衛生同業組合、おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会の各総会において、観光事業者等を対象とした啓発活動を行いました。 【雇用経済部観光局観光政策課】  ○ 三重県新地震・津波対策行動計画の選択集中テーマの一つである「命が危ぶまれる観光客対策」の中で、「観光関連事業者のための災害対応力向上セミナー」や「津波避難マップ・マニュアル等地域別研修」等の観光事業者、観光関係団体を対象とした防災面からの人材育成、紀北町における観光客への対応を想定した避難訓練の実施、鳥羽市での「帰宅困難者対策」、紀北町での「観光客の避難・一時避難後の対応」、伊勢志摩地域での「伊勢志摩サミット災害対策」というテーマによる主要観光地の防災対策等に係る課題検討の場づくりを取りまとめました。 【雇用経済部観光局観光政策課】

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(3) 観光旅行の安全・安心心の確保	5(3)③ HACCP(ハサップ)、自主衛生管理システムの導入促進	食品関連事業者に対して、HACCPの考え方に基づく、食品の製造・加工程への自主衛生管理システムの導入を促進します。	○ 三重県食品監視指導計画に基づく腸管出血性大腸菌、カンピロバクター及びノロウイルスによる食中毒対策や、神宮式年遷宮や熊野古道世界遺産登録 10 周年という機会を活用した三重県観光キャンペーン(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月)の実施を受け、国内外からの来訪者に安全な食品を提供できるよう、特に観光地の大規模宿泊施設やレジャー施設の飲食店などの関係事業者等の監視指導を行いました。 食品の安全確保のためには、事業者自らが行う、自主的な衛生管理が重要であるため、HACCP手法を導入した衛生管理プログラムからなる「三重県食品の自主衛生管理認定制度」の推進を実施(新規取組開始 4 施設、取組施設総数 172 施設)しました。 【健康福祉部食品安全課】
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(3) 観光旅行の安全・安心心の確保	5(3)④ 食品表示の監視指導	食品表示に関して、食品関連事業者に対して監視及び指導を行うとともに、普及・啓発を図ります。	○ 食品表示法に基づく食品表示について、消費者及び事業者への普及啓発を進めるとともに、営業施設の立入検査の際に確認指導を実施しました(1,659 事業者) 【健康福祉部食品安全課】
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(3) 観光旅行の安全・安心心の確保	5(3)⑤ 県管理の道路・河川・海岸等施設の維持管理	県管理の道路・河川・海岸等の施設について、安全・安心の確保に向けて計画的な維持管理を進めます。	○ 道路施設が将来にわたって機能を充分発揮し道路利用者の安全・安心を確保するため、緊急点検の結果に基づき、緊急に対応すべきものについて修繕を実施しました。また、橋梁、トンネル等について、予防保全的な観点で長寿命化計画の策定を進めるとともに、計画的な点検・修繕・更新を実施しました。 【県土整備部道路管理課】  ○ 河川・海岸等の施設を良好な状態に保つため、点検や修繕を行い、災害の未然防止に努めました。 【県土整備部流域管理課】
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(3) 観光旅行の安全・安心心の確保	5(3)⑥ 飲食店及び旅館事業者等からの暴力団排除	「三重県暴力団排除条例」に基づく普及・啓発を進め、飲食店及び旅館事業者等からの暴力団排除に取り組みます。	○ 「三重県暴力団排除条例」の広報啓発活動 各種合等において、条例に関する講話を行い、飲食店及び旅館事業者等を含む事業者等に条例の周知を図りました。 【警察本部刑事部組織犯罪対策課】  ○ 「不当要求拒否宣言の街」の設立 地域における情勢を勘案し、暴力団排除組織である不当要求拒否宣言の街の設立を推進するとともに、同組織と警察等との合同による飲食店街における暴排ローラーを実施し、暴排意識の高揚を図りました。 【警察本部刑事部組織犯罪対策課】  ○ 利用規約等への暴力団排除条項導入に対する働き掛け あらゆる機会を通じて、宿泊事業者等の施設管理者に対し、暴力団排除条項の導入を働き掛けました。 【警察本部刑事部組織犯罪対策課】  ○ 暴力団による県民生活や事業活動に対する不当な要求を排除し、安全で平穏な生活の確保と健全な社会経済活動の発展の基盤となる暴力団排除の気運を醸成することを目的に、三重交通路線バス広告、県内 3 地区(北勢・中勢・南勢)5 台の広報看板を作成して掲出しました。 【環境生活部くらし・交通安全課】



大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(3) 観光旅行の安全・安心確保	5(3) 不特定多数が利用する大規模建築物の耐震化		<p>○ 不特定多数が利用する大規模建築物の耐震化を促進するために、5棟の耐震診断の支援を行うとともに、災害時に避難所として活用される建築物（ホテル、旅館等）に対し、2棟の耐震改修の支援を行いました。</p> <p style="text-align: right;">【県土整備部建築開発課】</p>
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(4) 観光振興に資する交通基盤等の構築	5(4)① 道路ネットワークの形成推進	<p>新名神高速道路、東海環状自動車道、紀勢自動車道、熊野尾鷲道路等の高規格幹線道路、北勢バイパス、中勢バイパス等の直轄国道の整備の促進等、交流や連携を広げる道路ネットワークの形成を推進します。</p>	<p>○ 災害時の復旧・復興を担うとともに、集積する産業のみならず観光資源など地域の今ある力を生かした道づくりに向けて、高規格幹線道路や国直轄道路等の幹線道路や、そのアクセス道路となる県管理道路等の整備を進めました。</p> <p>〈平成 27 年度主な供用〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 368 号 大内拡幅：L=1.6km(伊賀市内)</li> <li>・国道 260 号 木谷工区：L=1.4km(志摩市～南伊勢町)</li> <li>・主要地方道一志美杉線 矢頭峠バイパス：L=1.7km(津市内)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【県土整備部道路企画課、新名神推進課、道路建設課】</p>
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(4) 観光振興に資する交通基盤等の構築	5(4)② 交通網の整備促進や空港等の利用促進	<p>関係団体と連携し、中部及び関西国際空港の利用促進や国際拠点空港としての機能充実、中部国際空港への海上アクセスの利用促進、リニア中央新幹線の早期全線整備や県内駅設置、鳥羽伊良湖航路の維持、広域的な鉄道路線の利便性向上等に向けた取組を進めます。</p>	<p>○ 中部国際空港および関西国際空港の国際拠点空港としての機能充実等を図るため、関係自治体や経済団体と連携し、利用促進等の取組を実施しました。</p> <p style="text-align: right;">【地域連携部交通政策課】</p> <p>○ 本県と中部国際空港を結ぶ海上アクセスについて、津市、松阪市及び海上アクセス運航事業者等と連携してPR用ポスターを作成・配布するなど、利用促進に取り組みました。</p> <p style="text-align: right;">【地域連携部交通政策課】</p> <p>○ 本県と関係市町等で構成する「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」や名古屋以西の中間駅設置予定県である奈良県や両県の経済団体との連携・協力の枠組みにより、三重・奈良ルートによる全線同時開業に向けた活動を推進するとともに、国等への要望活動を行いました。</p> <p style="text-align: right;">【地域連携部交通政策課】</p> <p>○ 東京・大阪間の沿線都府県で構成する「リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」にて、国やJR東海等関係機関に対して東京・大阪間の全線早期整備に向けた国等への働きかけを行いました。</p> <p style="text-align: right;">【地域連携部交通政策課】</p>

大項目	中項目	小項目	計画書の本文	平成 27 年度観光施策の取組状況
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(4) 観光振興に資する交通基盤等の構築	5(4)③ 熊野古道シャトルバス、二次交通の充実	名古屋駅と熊野古道の各峠を結ぶシャトルバスを関係市町と共同運行し、観光旅行者に対して安定的な動線を提供します。また、周遊バス、レンタカー、観光タクシー等が組み込まれた旅行商品等を通じて、二次交通対策の充実を図ります。	○ 東紀州関係市町（尾鷲市、熊野市、紀北町）と連携してシャトルバスを運行しました。また、シャトルバスのさらなる利用促進のため、関係市町等との定期的な協議を行い、シャトルバス利用者を対象としたお買物クーポンの実施や、企画ツアーへの協力、発地場所である名古屋駅において、PRチラシの配布などを行いました。 平成 27 年度のシャトルバスの利用人数は 4,229 人（前年度比 98.7%）でした。  【雇用経済部観光局観光誘客課】
5 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり	(4) 観光振興に資する交通基盤等の構築	5(4)④ パーク&バスライドへの支援	伊勢神宮内宮周辺で年末年始やゴールデンウィーク時に発生する渋滞の解消に向け、「伊勢地域観光交通対策協議会」が行うパーク&バスライドの取組を支援します。	○ 伊勢地域観光交通対策協議会及び同部会に参加し、事務局の伊勢市をはじめ、国、県、周辺市、民間、住民等の関係機関等と、年末年始やゴールデンウィーク等のパーク&バスライドやその情報発信等の交通対策に関する検討を行いました。  【雇用経済部観光局観光政策課】

## 5 推進体制の整備

### (1) 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、市町や観光事業者等との役割分担を踏まえつつ、連携・協力しながら取り組んでいます。

平成27年度は、「三重県観光キャンペーン推進協議会」において、官民一体で「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～」を展開するとともに、協議会の中の「地域部会」においては、参加機関が一体となって地域の魅力や特色を活用した事業の実施に取り組みました。

また、県の推進体制としては、引き続き「三重県観光審議会」に観光振興について調査・審議いただくとともに、新たな三重県観光振興基本計画の策定について審議いただきました。

さらに、多様な団体が参画する（公社）三重県観光連盟、（公社）伊勢志摩観光コンベンション機構、東紀州地域振興公社等とも、継続的に連携・協力しながら取組を進めました。

### (2) 観光統計の整備

平成27年度は、三重県観光客実態調査について、調査員説明会における調査の趣旨説明の実施や、調査票の見直し、調査の注意点の調査員への徹底などにより、調査精度の向上に取り組みました。

また、多くの方が容易に観光統計のデータを入手できるよう、観光レクリエーション入込客数をホームページに掲載しました。

### (3) 計画の進行管理

平成26年度の年次報告書を取りまとめ、三重県議会への報告や三重県観光審議会における審議などを通じて、今後の観光施策の方向性を確認しつつ、適切な進捗管理に努めました。

